3号館仁科資料の内容一覧

調査·原稿作成

岩城 玉木荚 彦島村福太郎 竹内 一

3号館仁科資料の内容一覧

第2版 1991.3.24.

調查·原稿作成

 岩城
 正

 玉木
 英彦

 島村
 福太郎

 竹内
 一

 矢崎
 裕二

理研3号館に保存されていた仁科資料について*

竹 内 一

はしがき

この資料は、1977年を目標に計画された理研創立60周年記念事業を契機として、結晶物理研究室から記念資料室(現史料室)に移管、保存されることになったものである(1978年3月)。これは仁科博士のヨーロッパ留学出発前後から、帰国後数年までの文書を含み、

- (1) Klein Nishina の公式の導出など研究過程のメモ,
- (2) ボーアの相補性論文(1928,独文および英文)の生まれる過程をしめす数種の草稿,校正刷(仁科はクラインとともにボーアの論文の独文からの英訳を手伝った),
- (3) 日記,見学記,
- (4) 書簡

などからなる。年代は1920年から1936年にわたり、ボーアの原子理論完成後の量子力学形成期のコペンハーゲンの状況、そのころ学術上の"新"大陸アメリカの状況、日本における量子力学普及活動の一端、さらに原子核実験の準備の様子などをうかがい知ることのできる貴重な資料である。

この資料が結晶物理学研究室に保管されるにいたった事情は、1978年3月~4月、当時の記念資料室長 岩城 正氏 が、資料の納められていたダンボール箱に「幸地さん」と書いてあるのに気づいたことから解きほぐされた。岩城氏のメモ(1978.4.11付)によると

- (1) 幸地氏は1961年1月から1970年3月まで,原子物理研究室(篠原主任),生体高分子物理研究室(深田主任)に,さらに放射線化学研究室(今村主任)に1971年4月まで在職された事がわかり。
- (2) 4月11日に来所された篠原先生に伺ったところ、幸地氏(現姓兼次)が現在和光市 に居住されていることがわかったので、電話連絡したところ早速来所され、1966年の 駒込より和光市への移転当時の事情などが明らかになった。

とのことである。以下、岩城メモおよび「理研50年」その他によって、この資料の由来を たどって見ることにしよう。

資料の由来

仁科博士は1928年12月ヨーロッパ留学を終えて帰朝され、長岡研究室の研究員として3号館におられた。当時3号館には、長岡、西川、高嶺、石田など物理系の研究室があった。

^{*} 理研OB 会報 第28号 (1989年4月) より

1931年7月に仁科研究室として独立したが,1935年西川,仁科両研究室共同で原子核実験室設置が計画され,その建物の一部である37号館が完成してここに移転するまでは,3号館2階に居室,実験室をもっておられた。上記資料に含まれる書簡のもっとも新しい日付は,1936年12月17日であること,岩城メモの中の建物に関する記録と合わせ考えれば,移転は1936年下旬から1937年前半のうちと推測される。(*)

仁科博士は自室の木製書棚の下部引出しにヨーロッパ留学中の研究資料,書簡など,当 座必要ないと判断されたものを入れておかれたが,37号館への移転の際に,既にこの引出 しが開きにくくなっていたためか放置したままになった。その後この部屋は西川研究室の 輪講室として使用された。西川研究室は,1950年篠原博士に引き継がれ,原子物理研究室 ほか数回の名称変更の後,和光市の新研究所への移転の直前,篠原主任の定年退職にとも ない,1966年4月深田博士を主任として生体高分子物理研究室に再編成された。一方西川 研究室の学問的伝統の一つの流れを受けたものとして,前記推移とは別に蘒原 (Hagihara)博士を主任として,結晶物理研究室が1962年に新設されていた。

和光市への移転に当たって、この資料は「開かずの引出し」にあったにもかかわらず、当時の関係者の御配慮によって、ようやく陽の目を見、ダンボール箱2個に納められ新研究所へ運ばれた。この際初めて明らかになったこの資料の内容が「より近い」とのことで深田主任より蘒原主任に移管され、研究本棟3階の共同倉庫に保管された。さらに10年の後、創立60周年記念事業の一環としての資料収集の呼び掛けを機会に、結晶物理研究室の岩崎主任より、1978年3月14日、「篠原先生立ち会いの上で、記念資料室へ渡したい」との申し出があり、関係3者立ち会いのもとに記念資料室に保管されることになった。その後は岩城室長ならびに仁科博士の門弟であった玉木博士を中心に、理研と仁科財団の協力により、整理、分析が進められた。

1937年からの40年間には、第2次大戦、数度におよぶ研究所の解体、新設、また研究室の改廃、移転など、消滅の危機は何度となくあったと思われるが、節目毎に関係者の適切な処置によって生き残り、「資料」として新生命を得るに至った。

- (1) この間,各段階で注意深くかつ資料価値を認める人に出会った。
- (2) 理研50年,ついで60年記念事業により,発掘の契機,保管施設が存在し,積極的管理者にもめぐまれた。

^(*) 仁科博士の1928年以来の念願であったボーア教授招聘が1937年に実現した。これと直接関係する書簡は、以前のものをふくめて37号館に移ったらしく、現在仁科記念室に保管されている。1937年以後は、大小のサイクロトロンの建設、さらに1941年日米開戦、1945年敗戦、研究所解体、新会社設立と経営の苦労等々、1951年に亡くなるまで息つく暇もなかったろうことが、あらためて想い起こされる。

という要因とともに運の強さ (**) をも感ぜずにはいられない。 ここに関係者各位に感謝する次第である。

理研 3 号館仁科資料概要

1. 書簡

和文約450通(1921-1936),欧文約200通(1922-1936)のほか発信リストあり。

2. 日記,見学記

大正十年当用日記, 訪米記(1928) ほか。

3. 学習ノート,研究メモ

講演筆記,基礎的勉強のノート,X線から量子力学に至る研究途上における疑問点のまとめ、小論文など。文献学習ノートにも仁科のコメントの書かれているものあり。

4. Bohr 相補性論文英訳関係資料

Como における Volta 100 年祭の招待講演から, Naturwissenschaften, Nature の論文 (いずれも 1928 年 4 月受理) が生まれる過程の資料,数種の草稿,校正刷など。

5. Klein - Nishina 論文関係資料

計算の一部,草稿に近いまとめ,数値計算,校正刷,Kleinの手紙など,仁科単名の論文(Polarizationに関する)もここにまとめられている。

6. コロキウム・ノート

1926-1928の量子力学に関するものなど。

- 7. 文献学習ノート
 - a. 1924-1928 量子力学
 - b. 帰国後のX線分光学と化学に関するもの
 - c. 勉強会教材
 - d. 別刷
- 8. 原稿,草稿

仁科研究室初期の論文原稿,解説の原稿等。

- 9. 実験ノート, 会員証など
- 10. 仁科に無関係と思われる資料 (コロキウム当番表?など)

^(**) 例えば、1945年4月13日夜、空襲による火災で3号館は僅かな部屋を残して焼失したが、(「自然」 1978-12 増刊号、p. 94 三宅静雄氏の記事)、この書棚は無事だった。

3号館仁科資料の内容一覧

第2版 1991.3.24.

資料の第1次整理のときの収納の状態にほぼしたがって、管理用番号をつけた.まず 概要を下記の表にしめす.つづいて各資料の内容の概略を番号順に記録する.

分類	始番号	終番号
文献学習1	1	68
文献学習2	69	102
文献学習3	103	149
相補性論文	150	165
Klein-Nishina公式	166	218
教材	219	221
論文原稿・草稿	222	228
解説原稿・草稿	229	271
展示品	272	279
見学記その他	280	309
欧文書簡	310	509
事務的書簡など	510	568
和文書簡	569	1014
和文書簡ファイル中の案内などの非書簡	1015	1028

☆ 引用文献を調べる手がかりとして、仁科記念財団所蔵の下記の資料を利用した: "Publications from the Institute for Theoretical Physics.

University of Copenhagen,in the years 1918-1948 (コンニャク版)以下このリストを"Publ. from ---"等と略記する.

☆ 書簡リストにおける記号の約束:

- (1).発信人あるいは受信人が所定のスペースに書ききれない場合は、「*」を付記した上で、コメントの行に「*」を前置して続きを書くことにした。
- (2).発信人あるいは受信人が連名の場合は、「/」で区切ることにする。書ききれない場合は前項に準ずるが、最後に「/」を付加する。
- (3).資料の番号付けの都合上ここに入れてある「非書簡」には、「@」を前置する.

番号 内容の概略

☆ 文献学習1 ☆

- 1 Waller:Z.Phys. 38(1926)635,
 Der Starkeffekt zweiter Ordnung bei Wasserstoff und die Rydbergkorrektion der Spektra von He und Li⁺
 論文の要点をまとめたメモ、用いられた仮定についてコメント
- 2 Jordan:Z.Phys. 40(1927)809 Über eine neue Begründung der Quantenmechanik Jordanの論文とDiracの変換理論との関係を考察したメモ.No.115参照
- 3 Heisenberg Lecture 行列力学の基本的な考え方の説明.行列表示,正準交換関係,運動方程式, ハミルトニアン,正準変換,角運動量など
- 4 Einstein:Sitz.ber.Berliner(Preus.)Akad. d. Wiss.,S.261,1924 Quantentheorie des einatomigen idealen Gases 論文筆写(一部分)
- Einstein:Sitz.ber.Preus. Akad. d. Wiss.,XVⅢ-XXV,S.261,1924*,
 I-II,S.3,1925 & III-V,S.18,1925, III-V,S.49,1925**
 論文の要点をピックアップ,いくつかの注釈を付したメモ
 * No.4 とおなじ ** Zur Frage der Quantelung einatomiger Gase (著者?)
- 6 Faxén, Holtsmark: Z. Phys. 45(1927)307
 Beitrag zur Theorie des Durchganges langsamer Elektronen durch Gase いくつかの論点について解釈のための考察を記す. この論文は"Publications from ---"にある.
- 7 線形代数ノート(第31頁) No.576(1-6頁), No.17(7-30頁)の続きと考えられる. Parallelverschiebungと 表題あり. あとは用箋の残り
- 8 メモ スペクトル線の強度の観点より Stoner の理論の性格を考察したメモ

- 9 文献リスト及びメモ Sommerfeld, Laue, Ewald, Schäfer, Debyeなどの1907-1925の論文の巻号, 頁, およびノートの一部. 位相速度, 群速度, 信号速度についてのメモ
- 10 Eine Paradox der Kanonischen Transformation 仁科のメモ、3頁、Schrödinger 方程式を直交座標表示から極座標表示に変換す る際の問題点に関する考察(正準変換の理論との関わりにおいて)
- 11 Born, Heisenberg, Jordan: S.568(-S.604) 論文中の式をfollowする計算及び注釈 論文は"Zur Quantenmechanik II", Z.Phys.35(1926)557-615
- 12 Born:Quantenmechanik der Stossvorgänge. 前半の要所についての注釈を記す. 3枚. Z.Phys.,38(1926)803-827 参考文献としてHilbert-Courantを挙げている.
- 13 The kinematics of an electron with an axis 1-16頁および4枚. 論文中の式をfollowする計算及び注釈.
 L.Thomas:Phil.Mag.111(1927)1. 最後の1枚の裏にThomas:Spinning electronと記入されている. 注釈は主として相対論に関連したもの. 最後の6頁は仁科筆跡かどうか疑問. 参考書:電磁気-Lorentz:Electron Theory, 相対論:Eddington L.Thomasの論文は"Publ. from ---"にあり
- 14 Quantenmechanik, Heisenberg:Naturwiss.5 Nov.,1926,S.989 いくつかの論点について注釈を記す.3頁+1枚
- 15-1 O.Klein:Nature,<u>118</u>(1926)516
 The Atomicity of Electricity as a Quantum Theory Law 論文筆写、3頁、この論文は"Publ. from …"にあり、
- 15-2 L.de Broglie:Nature p.441,Sep25,1926, Interference and Corpuscular Light 論文筆写. 3頁
- Born, Heisenberg, Jordan:S.571-572, Born:Atomdynamik, S.80 vgl mit Schrödinger 4te., S.119
 Born, Heisenberg, Jordanの論文中の式とSchrödinger 3te. & 4te., および Dirac 7th paper(113, p.627)の式との関連を考察.

17 線形代数ノート(7-30頁)

用語はドイツ語で講義ノートらしい.

1-6頁はNo.576にあり、別に保存されていた(裏が手紙の下書). 31頁は No.7に にある. ノートの筆跡は仁科のものではないと思われるが、p.10,p.14,p.15 に 仁科筆跡の書込がある. 内容は多次元ベクトル空間の変換の理論、曲面論

18-1 Strassburg見学記

Gigantic magnet, magnetic properties of Ni etc 4項の Bauer という人名はなんらかのてがかりになるかもしれない. 最後の頁に イタリアの各地のホテル名メモあり

- 18-2 Strassburg見学記のつづき 高電圧発生装置らしいものの配線図
- 19 X線の積分吸収係数 f のグラフ f vs. Z, f_K vs. ν /Rのグラフ (パラメータ Z). fの定義は No.25参照. K,LIII,L I+L II+LIIIの f H.H.Rasmussen & Søn製グラフ用紙使用
- 20 グラフ 詳細不明の 3枚. Equiv. air vs. No/min など
- 21 Pb, Au, Pt, W のμ/ρ計算表 仁科 - Rabiの式よりLII, LIIIについての質量吸収係数μ/ρを求める。 LI+LII+LIIIの値及びK/Lの値を測定値と比較、仁科- Rabiの物理学会報告には 数値計算として K の吸収係数のみが記されている。No.68と関連
- 22 M-Niveau from L etcの公式および表 lower energy level, emission line energy→higher energy level 表はS(16)-Zn(30)のKα1, Kβ1の波長など. energy level, 放出線分類scheme はBohr-Coster: 7. Phys. 12(1923)342-374のもの(p.347の図) とおなじ.
- 23 X線実験材料表 手書き,裏面に式あり
- 24 X線実験用高電圧整流器配線図ほか 最後の頁にHoltsmarkとUreyの名前と所属のメモあり、このうちHoltsmarkに ついては仁科の筆跡ではないらしい

- 25 各種元素に対する X 線吸収係数の波長依存性
 S.J.M.Allen, Phys. Rev. 28(1926)920; Richtmeyer, Phys. Rev. 27(1926)1による.
 X 線積分吸収係数 f の定義: f = (c²m・m_HM/π e²)∫(μ/ρ)(dλ/λ²)·10°,
 積分の下限,上限は0,λ₀,λ₀は吸収端の波長.λはオングストローム単位.
 仁科-Rabi報告関連
- 26 各種元素に対するX線吸収係数表および P.Langevin ほか身分, 所属メモ Richtmeyerによるもの. f_K vs. Z のAllen, Richtmeyerの比較のグラフあり
- 27 文献一覧 W.Kolhörster:Phys.Zeitschrift,26 Jahrgang,S.732,8 Dez.,1925 Notiz zum Geigerschen Zählerほか
- X線の相対強度をもとめる実験のための考察メモこれは仁科-Rayの実験の方法を具体的に示すものと言えるかもしれない。 S(sensitiveness)としてフィルムの黒化度を用い、Fe,Co,Ni,Cuの対陰極より生するX線の強度 F としてRosselandの式を用いて、この考察の方法を適用したものが仁科-Rayの仕事と見られる。論文は "Relative Intensity of X-ray Lines",Nature,117(1926,Jan 23)120
- Berechnung der magnetischen Rotationsdispersion bei Multiplettlinien. 異常ゼーマン効果について論ずる論文草稿の形式だがいくつか日本語の注あり. 著者不明だが仁科自身のものかもしれない. 時期についてのヒントとしては, 本文6ページの"einen neueren Arbeit von Kronig"から見当つけられよう. R.de L.Kronig:"Ueber die Intensität der Mehrfachlinien und ihrer Zeemankomponenten", Z. Phys. 31(1925)885 , "同 II", Z. Phys. 33(1925)261 が関連する論文と思われる(この論文は"Publ. from …"にリストされている)
- 30 W.Kuhn:Z.Phys.38(1926)440
 Breite der Absorptionslinien in bestrahlten Na-Dampf
 論文筆写.この論文は"Publ. from …"にリストされている
- Planck's theory of radiation
 Campbell:Modern Electrical Theory,p.234
 (M.Planck:Ann.d.Phys.,IV1(1900)69)
 古典電磁気学に基づく輻射の放出と吸収の取り扱い。
 最後の1枚は"Sugiura,23.11.26"という表題あり、コロキウムノートか?
 こちらの内容は1次元のポテンシャル中のSchrödinger方程式の解と前期量子論の量子化の規則 ∮pdq=nh との関係を論じたものらしい

- 32 X線に関する学習メモ 遷移の選択規則、多重度などを考察する途上のメモと思われるが、まとまった 記述ではない、レベルの表記法は前期量子論に基づくもの
- 33 X線実験装置に関するメモ 小紙片に図解あり
- 34 Quantitative Chemische Analyse der Mineralen 著者不明, 仁科の研究メモらしい. Costerの方法の改良の準備段階の考察メモと と思われる. Coster法の基本的仮定についての批判的検討を論じている. D.Coster and Y.Nishina, Chemical News, (Mar 6,1925)149 参照
- 35 別刷 Y.Nishina,Z.Phys.,<u>52</u>(1929)869:Die Polarisation der Comptonstreuung der Diracschen Theorie des Elektrons
- 36 学習ノート spinning electronを相対論的に扱う内容. L.Thomasの論文と思われるが未確認
- 学習ノート
 Diracの論文*中の一箇所の式のチェックを行なった計算. 仁科の結論はDiracと 異なるが実はDiracの方が正しい(このノートの最後に鉛筆で「誤算 Dirac」と ある)
 * Proc.Roy.Soc.,A110(1926)561 の p.571参照
- 38-1 論文筆写. Thomas:-
 - III. The collision of two particles under inverse square forces; mean energy transfer etc
 - IV.The motion through matter of comparatively slow-moving elctrons. 電子照射で発生するX線の強度を論じRosselandの式の改良が行なわれている. Rosselandの式は仁科-Rayの論文に用いられた. "Publications from …"には L.H.Thomas:The Production of characterristic X-rays by electron impact, Proc.Camb.Phil.Soc.,23(1927)829という論文が挙げられている
- 38-2 書簡下書

宛先不明.「・・・さて変圧器に関しては・・・. 昨日水谷氏よりも」式の書いてあるメモの裏. この式はNo.38-1の p.7の最初の式を導くメモ

- 39 Thomas: Higher Zeemann-effect Term(Hydrogen) 式に番号記入がないなど不明な点あり、表題、掲載誌も不明、内容は静磁場の 存在のもとでの水素原子の電子の運動を非量子力学的相対論で扱ったもの、 最後の 1枚はX線管を含む回路図
- 40 題目不明のノート 最後の1枚の裏にBorn-Jordanと書いてある. 論文中の式をfollowする計算と 注釈. 論文は上記メモと内容からBorn-Jordan,"Zur Quantenmechanik", Z.Phys.34(1925)858-888と推察される
- Fowler:On Einstein's statistical mechanics 講義ノートまたはセミナーノートのような体裁で英語混じりの日本語で記されている. 内容はEinstein統計の分布則を導き,量子力学的理想気体と,理想気体+結晶の系に適用したもの. p.6にコメントあり(此 ideaが trueナリトセバ・・・).
- 42 On Kronig's paper 考察途上のメモで2種類の内容が混在している. (1) X線の相対強度を求めること - No.28関連.
 - (2)多重度,選択規則を考察 No.32関連、Kronig,Z.Phys.31(1925)885, 33(1925)261 と関連するものかもしれない、仁科と異なる筆跡が見られる
- 43 水素原子について、n=1,2の束縛状態から E>0の連続固有値の状態への遷移確率 を求める計算らしい. 仁科自身の考察か論文などからの抜粋か不明
- 44 J.M.Dewey:Intensities in the Stark Effect of Helium Phys.Rev.,28(1926)1108. 論文抜粋.この論文は"Publ. from ---"にある.最後にコメントあり
- P.Ehrenfest:Relation between the Reciprocal Impenetrability of Matter and Pauli's Exclusion Principle, Nature, Feb 5,1927, p. 196 論文筆写.途中1箇所注釈あり
- 46 Funktionaldeterminante, H.A.Lorentz:Abhandlungen über theoretischen Physik I,S.151-163 要点抜き書き
- L.E.Dickson:Algebra & their Arithmetics,Chicago 1923
 J.H.Maclagan Wedderburn:On hypercomplex numbers,Proc.Lond.Math.Soc.
 Bd 6,S.77-118
 数学の本からの抜粋らしいが、用語はドイツ語で、表題の文献ではないらしい

- 文献リスト A.E.Ruark,F.L.Mohler,P.D.Foote u. R.L.Chenault: Sci.pap.bur. of stand.,Bd.19,S.463,1924 ほか1923-1926の文献リスト
- 49 Schrödinger(Erste Mitteilung)
 "Quantisierung als Eigenwertproblem", Ann, d. Phys., 79(1926)361-376
 の簡単な抜粋. Hamilton-Jacobiの方程式からSchrödingerの固有値方程式を導くところと、波動関数を動径と角の関数に変数分離するところ
- 50 Schrödinger: Der Erste Vortrag/ Second lecture この表題は鉛筆で書かれている.コペンハーゲンでの講演のノート. Der Erste Vortrag: 固有値方程式の2つの導出法, 平の意味.

Second Lecture: $\Psi\Psi$ の意味. electric moment, 分散理論への応用など. このノートについては1990年6月堀健夫先生に鑑定していただいた. 日時は第1回: 1926年10月4日夕刻. 第2回:10月5日, ノートの p.5の後半以後はBohrのコメントに出てくる図及び式, つづいて仁科自身の考察メモとのこと

- 51 C.G.Darwin: Nature, p. 282, Feb. 19, 1927, The Electron as a Vector Wave
- 52 Smekal:Handb.d.Phys.Bd.IX,Theorien der Wärme,S.225
 Das Maxwellsche Geschwindigkeitsverteilungsgesetz
 ほか数種の文献を引用しながらMaxwell分布,Boltzmann分布,その量子論への適用を論じ、エネルギー等分配の法則を考察したメモ.
 引用文献:Smekal, Madelung, Sommerfeld, Rosseland, Fowler, Eddington
- P.Ehrenfest u. G.E.Uhlenbeck, Z.Phys. 41,24,1927
 Die Wellenmechanische Interpretation der Boltzmannschen Statistik neben der der neueren Statistik 論文筆写. 最後に仁科のコメントあり
- Power Alcohol Production (別刷)
 Ministry of Agriculture and Fisheries, 1926
 「Y. Nishina」のサイン左上にあり
- 55 チュービンゲンの地図および1924.3.10付メモ メモは分光の実験見学記と"Paschen Lecture". 最後の"食堂ニテ"のメモに 「BohrカNucleusニテ他ヲeinfangenスル. 余モElektronノ一也」とある

- 56 1. Heitler, 19.11.26 (4頁)
 - 2. "A method for estimating the binding energy of valence electron of rare-earths and its probable relation to the atomic volume and effective quantum number" 29/4/25 と日付記入あり、
 仁科のアイディアを記したもの、2頁
 - 3. May I understand the existence で始まるメモ(anomalous Niveau). 2百
 - 4. Die Methode der kleinsten Quadrate(Czuber)よりの抜粋. 1頁
 - 5. Compton Effect 文献よりデータ抜粋、1頁
- 57 文献表題

Poincaré:Sur le dynamique de l'electron, 1906, Levi-Civita:..., Born:...

- 58 Focusing of X-ray spectrograph, Y.Nishina 結晶面による完全反射を基にした幾何光学的考察 1-4 頁
- 59 Born/Gitterenergie ノ計算ニテハ・・・ 青山・木村・仁科 連名論文関連 Born:Quantenmechanik der Stossvorgänge,Z.Phys.38(1926)803/表題,式 3行 For a spherical uniform surface charge distr. of charge e rotating as a whole, radius a,(筆跡不詳)
- 60 Quantum Number &c 1.疑問-答 2.疑問-答 ・・・の形でvalence electronに働くeffective field と軌道の形をBohrのeffective quantum numberの概念(Bohr-Costerの論文参照) を基にして考察したメモ、仁科のPhil.Mag.論文関連、1-10頁
- 61 メモ及び手紙下書
 - 1. Inner quantum number トハ何ヲ意味スルカ,モシ・・・,2.・・・などの 7項目のコメントおよび"Conclusion"(Stonerの理論をめぐる考察)がある. 裏は書簡下書の一部分 (Hfの化学分析の話があり, Costerあてらしい. "Hevesy went away for honey-moon to Hungary last month..."とあるので1925年のものと思われる)
- 62 Costerあて書簡下書の前の部分 Copenhagen,30th Oct,1923付. Phil.Mag.論文の仕事をBohrに勧められた経緯. "I do not know whether I still stay here until February."とある. No.64 と同じ実験課題のリストあり
- 63 (τ/ρ)κの表 (Elements:Pb-C) 仁科-Rabiの物理学会報告の最後の表と同じ

- 64 X線分光の実験課題を列挙(Costerとの連名論文, Phil. Mag. 単名論文に関連)
 - "Exact determination of T/R, which were interpolated in the table and are still left in the last measurement of Coster, Werner and me, for instance L_1 of 58(Ce) to 64(Gd), ..."
- 65 0.Klein: 25.10.26 相対論的Schrödinger方程式, 電荷密度・電流密度の相対論的表式を導く議論 0.Klein: Z.Phys.41(1927)407, (1926.12.6 受理)の原形をなすと見られる
- Dirac Colloquium 前半はHamiltonianが時間を陽に含む場合の運動方程式の議論。 後半はcharge densityについての議論。前半はDirac:"Relativity Quantum Mechanics with an Application to Compton Scattering", Proc.Roy.Soc.All1(1926)405, (Received April 29,1926)に関連あり
- 8.12.26 H₂+・・・
 H₂+のSchrödinger方程式をr₁+r₂=2c λ, r₁-r₂=2c μにより, λとμに変数分離して論じる. "Publications from ---"には, Ø.Burrau "Berechnung des energiewertes des Wasserstoffmolekel-Ions (H₂+) in Normalzustand" (Vid.Selsk., Math.-fys.-Medd. VI, 14, 1927)がある
- Atomarer Querschnitt 仁科 - Rabi関連メモ.吸収係数μ/ρの一般的な結果を記し、K吸収、L吸収の 場合の具体的な表式を導く、No.21参照. 仁科-Rabiの論文名は下記の通り: "Der wahre Absorptionskoeffizient der Röntgenstrahlen nach der Quantentheorie" (Verhandlungen der Deutschen Physikalischen Gesellschaft; 1928 Feb). この学会報告では K吸収の式と数値計算のみ記されている

☆ 文献学習2 ※

- 69 F.Hund:Z.Phys.,<u>40</u>,742,1927, Zur Deutung der Molekelspektren I 論文中のいろいろな問題点につき注釈,考察,コメントを記す.33頁 この論文は"Publications from ---"にあり
- 70 W. Heisenberg: Z. Phys., 39,499,1926
 Ueber die Spektra von Atomsystemen mit zwei Elektronen いくつかの要点について注釈を記す.11頁この論文は"Publications from ---"にあり
- 71 P.A.M.Dirac:Proc.Roy.Soc.,110,p.561,1926 Quantum Mechanics and a Preliminary Investigation of the Hydrogen Atom 式をfollowする計算とコメント、9百
- 72 Gitterenergie/physikalische Bedeutung Born: Atomdynamik(S.173)に基づいて論じる. K.Fajans u. G.Joos, Z.Phys. 23(1924)1の結果の引用とコメント.青山・木村・仁科の論文に関連あり.
- 73 統計力学教材 ザラ紙にタイプ印刷(紫色)、式は手書き Freie Weglänge, Die Transportgleichung, …等の表顕有り
- 74 Na,K,Csについてρ,2v,ν/R,extreme radiiの表
- 75 N.Bohr:Naturwiss. 5.12.24, Zur Polarization des Fluorescenzlichtes 式抜粋とコメント. 2頁
- W.Hanle:Z.Phys.,Bd 30,S.93,1924 Über magnetische Beeinflussung der Polarization des Resonanzfluoreszenz Hanleの実験結果についての考察メモか? 未完.2頁
- 77 B.B.Weatherby:Phys.Rev.,32,707,1928 ほかのメモ C Kα,Cu Kα, など諸元素についてのKα,Lα,Lβ等の波長の測定値を抜き書き. 8頁. 文献は1928 — 1930にわたる
- 78 論文下書らしいメモ
 ・・・・between 58La & 71Cp・・・,Intensity of X-ray F=nia×hャー・
 Nishina-Ray論文に関連するものと、Phil.Mag.単名論文に関連するものが混在

- 79 Bohr:On the Application of the Quantum Theory to Atomic Structure. II.Theory of Series Spectra 講義プリント p.16,p.17,p.19の裏に書きこみあり、1-49頁
- 80 The Use of Rectangular Potential curves 箱型ポテンシャルに対するSchrödinger波動関数の基本的振舞・箱型ポテンシャルの核への適用を意図、3頁
- 81 W.Kuhn etc. 減衰項のある調和振動子による輻射の吸収と放出を古典的に論じたもの、 Kuhn等の論文に基づき仁科がまとめたメモと考えられる.8頁
- 82 1. Kuhn:Z.Phys.,43,56,1927 Absorptionsvermögen von Atomkernen für γ-strahlenの式抜粋, コメント
 - 2. Kronig:The Quantum Theory of Dispersion in Metallic Conductors IIより
 - 3. 遷移行列要素に関する抜書き. ドイツ語(日本語の注釈入り) 1., 2.は各1頁, 3.は4頁
- 83 On Kuhn's paper 1. 断片的メモ、12頁
- 84 On Kuhn's paper 2. 吸収に関する計算メモ. 13頁
- 85 On Kuhn's paper 3. 論文よりの抜粋らしいメモ. 吸収を論じたものでドイツ語. 10頁
- 86 Kuhn's paper He and X-ray dispersion (4.) 式の抜粋と計算. 輻射の吸収と放出を論ずる内容. 10頁. 裏に注意
- 87 Dirac:Proc.Roy.Soc.,561,1926 Quantum Mechanics and a Preliminary Investigation of Hydrogen Atom 式をfollowする計算と注釈. 19頁. No.37,No.89に関連あり
- 88 ノート Bohr:Linienspektren und Atombau No.275の続きで, sec.6の途中から論文の最後(sec.7)までの手写.16枚およびメモ用図 2枚.Bohr-Coster,Z.Phys.12,342,1923, Bohr,Z.Phys.S.27,1922…などが注記されている

- 89 計算の1部 [re'',p_y]=[x+iy,p_y]=i[y,p_y]=i etc. No.37と同趣旨の計算. 最後の1枚の裏にデンマーク語書簡の下書あり
- 90 P.A.M.Dirac:Proc.Roy.Soc.,vol 111,p.281,1926 The Elimination of the Nodes in Quantum Mechanics 式をfollowする計算と注釈を記す、9百
- 91 V=-c/rⁿ(r>R), V=-c/Rⁿ(r<=R)のポテンシャルによる散乱問題の計算 1st Born approx. で一般の n に対する散乱波の表式を求め, n=5,n=6について 具体的な形を書き下す. 2nd approx.による項を評価. n=6 について古典力学に よる計算も行なう. 9頁. No.142,No.144へ続く
- 92 E.Fues:Ann. der Phys.,80,367(1927)

 Das Eigenschwingungsspektrum zweiatomiger Moleküle in der Undulationsmechanik
 式をfollowする計算とコメント、4頁
- 93 グラフ用紙2枚(緑色方眼)
- 94 グラフ用紙 (橙色方眼) 断片
- 95 O.Klein の統計力学講義のノート 日付:28.3.28, 3.4.28, 11.4.28, 17.4.28, 1.5.28, 16.5.28 途中 p.18とp.19 の間にKleinの筆跡と思われるメモ 1枚あり
- 96 コロキウム・ノート Gamov: 3.9.28., Nordheim: 7.9.28, Hartree: 12.9.28, Mott: 1.10.28, Fowler: 29.9.28 いずれも"Publ. from ---"に、対応すると思われる論文がある
- 97 Darwin: 9.4.27.
- E.Fues: 6.4.27.
 Lebensdauer, Übergangswahrscheinlichkeit u.s.w. vom deren Wellentheoretische Standpunkt aus. "Publ. from ---"にはE.Fues: "Lebensdauern aus Resonanzerscheinungen" Z.Phys.43(1927)726 がある

- 99 Hund: 18.3.26.
 - 1. 上記コロキウム・ノート 19頁
 - 2. Zur Deutung der Molekelspektren Ⅲ と表題記入のメモ(8頁). 要点抜粋, 注釈. この論文"Publ. from ---"にある[Z.Phys.43(1927)805]
- 100 Single Electron, Two Electrons 多重項の分類の仕方を考察したメモ.8頁
- 101 Hund: 29.10.26.
 I Zählungs- Zuordnungs- Adiabasie- Fragen
 II Molekel Terme
- 102 Lenz (6.Die De-Broglie-sche-Welle) (7.Beobachtungstheorie) 途中に 10.2.28 および 17.2.28 という日付がある。連続講義のノートらしい

☆ 文献学習3 ☆

- 103 Pauli Seminar 記録 8.11.27-21.2.28 8.11.27, 15.11.27, 22.11.27, 29.11.27, 6.12.27, 13.12.27, 10.1.28, 17.1.28(Darwin), 24.1.28(Stern), 30.1.28(Stern), 14.2.28, 21.2.28
- 104 Questions (最初の 1枚の表題-頁付けなし) 量子力学に関連した疑問を列挙、残りの 1-11頁は O.Klein: Beispiel der korrespondenzmässigen Verwertung und der Begrenzung der Wellenmechanischen Feldtheorie. "Publ. from ---" にはこの表題の論文なし、セミナー?
- Dirac: 12.11.26.
 The Physical Interpretation of the Quantum Dynamics (Proc.Roy.Soc.113, p.621,1927) この標題は論文出版後に仁科が付記したものらしい。
 δ-function の話題がある
 - 1. Dirac 12.11.26 General Transformation Theory of Quantum Mechanics 15頁 p.11-15は論文出版後に付加したメモと思われる
 - 2. Dirac 15.10.26 7頁
 - 3. S.634 と記した部分(6頁)は論文の要点を抜き出し注釈を記したメモ. 論文出版後に付加したものと思われる
- Hund: 10.12.26. 3 quantenzahlen Moleküle mit zwei gleicher Atomen
 1. p.1-12. うちp.1-5がコロキウム・ノート. p.6-12は後で付加した注釈らしい
 2. p.1- 4. 後から付加した考察. "Publ. from ---"には1927の Z.Phys.を記載:
 "Symmetriecharactere von Termen ---", Z.Phys.43(1927)805 関連
- Heisenberg: 14.12.26.
 Resonance of more complicated Atoms
 1. p.1-11. コロキウム・ノート. 2. p.1- 4. 後から付加した注釈.
 "Publ. from ---"には Z.Phys.41(1927)239,Mehrkörperproblem und Resonanz in der Quantenmechanik II があり,これと関連するものらしい
- 108 Seminar:P.A.M.Dirac: 23.3.28.
 The Fundamental Equations of Quantum Mechanics—No.109 とおなじ論文.
 セミナーで上記論文の紹介が行なわれたらしい. p.1-7と頁番号なしの 4頁.
 後の部分には仁科のコメントがいろいろある
- The Fundamental Equations of Quantum Mechanics P.A.M.Dirac(Proc.Roy.Soc.109, p.642,1925) 要点について注釈を記す 8頁

- 110 Heisenberg: 17.9.28. Langevin Theorie, Weiss Theorie, Bloch, Bohr 強磁性, Blochの理論, 伝導度の話. 最後に"Bohr, Supraleitfähigkeit"
- 111 Schrödinger Dritte Mitteilung Störungstheorie mit Anwendung auf den Starkeffekt der Balmerlinien 要点抜粋, 式をfollowする計算, 注釈, コメント豊富. 32頁
- W.Pauli:Z.Phys.,41,S.81,1927, Über Gasentartung und Paramagnetismus 以下3行のみ
- E.L.Hill:Proc.Nat.Acad.Sci.,<u>15</u>,779,1929
 Relative Intensities in Nuclear Spin Multiplets 論文筆写. 4頁
- G.Gamov:Z.Phys.,51,204,1928, Zur Quantentheorie des Atomkernes
 1. p.1 上記論文についてのコメント. "Publ. from -"にはない.
 2. p.1-3 G.Gamov u. F.G.Houtermans:Z.Phys.52(1928)496. "Zur Quantenmechanik des radioaktiven Kerns"についてのコメント.
 "Publ. from -"にある
- P.Jordan:Z.Phys.,40,809,1927 Über eine neue Begründung der Quantenmechanik いくつかの要点について式をfollowする計算,注釈,コメントを記す.6頁 Diracの notationと対比する注釈が多い.No.2に関連あり.
- 116 O.Klein: Quantum Mechanics(波動力学)の講義ノート 基礎的な解説. 6頁
- E.H.Kennard:Z.Phys.,44,326,1927
 Zur Quantenmechanik einfacher Bewegungstypen
 式をfollowする計算,注釈を記す.16頁.Diracのnotationに置き換えての考察ところどころにあり.論文は波束の運動,拡りを論じたものらしい."Publ. from"にあり
- E.Wigner:Z.Phys.,40,492,1926 Über nichtkombinierende Terme in der neueren Quantentheorie p.1 は上記論文. p.2-6 はE.Wigner同 II / Z.Phys.40(1927)883. この 2論文の要点についてfollowする計算,注釈.

- W. Heitler und London: Z. Phys., 44, 455, 1927
 Wechselwirkung neutraler Atome und homöopolare Bindung nach der Quantenmechanik
 - 1. p.1-2 上記論文 S.457,458の式をfollowする計算
 - 2. p.3 Der gegenwärte Stand der quantenmechanischen Theorie der hombopolaren Bindung/Phys.Z.,31(1930)185 より式 3行
 - 3. p.4-5 Einige Folgerungen aus der Schrödingerschen Theorie für die Termstrukturen/Z.Phys,43(1929)624のS.633の注釈
 - 4. p.6-7 上と無関係なメモ.
- F. Hund: Z. Phys., 36,657,1926
 Zur Deutung einiger Erscheinungen in der Molekelspektren いくつかの要点について,種々の文献を引用しながら詳しく考察,注釈を記す.9頁
- P.Jordan:Die Naturwiss.,15,105,1927 Kausalität u. Statistik in der modernen Physik 要点についての注釈,考察を記す.3頁
- W. Gordon: Z. Phys., 48, 180, 1928 Über den Stoss zweier Punktladungen nach den Wellenmechanik 式をfollowする計算. 10頁. 参考書に Kikuchi: Analyt. Geom. が挙げられている
- 123 W. Pauli jr.: Z. Phys., Bd 43,601,1927
 Zur Quantenmechanik des magnetischen Elektrons
 - 1. 最初の 2頁 上記論文の要点の抜粋とコメント, 考察(Darwinとの同等性)
 - 2. 最後の 1頁 メモ. "Quantum Mechanics & Phase Space in sense of Gibbs" 不確定性関係より,量子力学ではGibbs流の位相空間は不適と論じる
- G. Wentzel: Z. Phys., 40,574,1926, Zur Theorie des photoelektrischen Effektes
 - 1. p.1-5 上記論文について注釈, followする計算, コメント
 - 2. p.6 G.Wentzel:Zwei Bemerkungen --- Z.Phys.40(1926)590より式抜粋
 - 3. 最後の 1頁: Einstein(Berl.Ber) S9,1925より抜粋
- P.Jordan:Z.Phys.,44,292,1927,Über die Polarisation der Lichtquanten 注釈,コメント. 5頁. コメントは Jordanの議論の性格について「然シドーモー見mathematicalニrelateセシメタルニ過ギザルガ如シ.---」等とある. 論文はelectron spin と光子の偏りの関係を論じたものらしい

- E.Schrödinger(4te Mitteilung /Ann.d.Phys., Bd 81,S.109)ほか Schrödingerのlste-3tte Mitteilung,および Ann.d.Phys.79(1926)734-756, "Über das Verhältnis der Heisenberg-Born-Jordanschen Quantenmechanik zu der meinen", さらにFues, Madelungの論文をも引用して、基本的な問題について詳しい考察を行なっている。考察にはCopenhagen解釈が反映していると思われる。37頁
- M. Born, W. Heisenberg u. P. Jordan: Zur Quantenmechanik II, S. 606 注釈, コメント. 6頁
- J.C.Slater:Phys.Rev.,37,481,1931
 Directed Valence in Polyatomic Molecules
 要点抜粋.4頁.最後の1頁は計算メモで Slaterの論文に関係あるものか否かは
 不明
- J.S.Foster:Proc.Roy.Soc., 117, p. 137, 1927
 Application of Quantum Mechanics to the Stark Effect in He
 全体についての論評的考察と要点についての注釈. 2頁.
 この論文は "Publ. from ---"にあり
- J.von Neumann u. E.Wigner:Phys.Z.,30,467,1929 Über das Verhalten von Eigenwerten bei adiabatischen Prozessen, 要点についての注釈を記す.3頁
- 131 He II ほかのデータ 不詳. 最後の 1頁は化学関係の古い文献(1910年代 - 1922まで)
- 132 CrⅢほかのデータ 光吸収の波長等のデータと文献リスト.6頁 文献は1927,1929,1930年のもの
- H. Schüler: Ann.d. Phys. Bd 76, S. 292, 1925 Über Feinstruktur in ersten Li-Funkenspektrum ほか文献表題(1925-1930). 5頁. fine structure関係の実験, 理論の文献, Hartree Method についての理論の文献
- Relativity 参考書
 Freundlich, Eddingtonほか、書評の目論見書らしい。1頁
 (電気学会雑誌原稿用紙の裏)

- Dirac:Proc.Roy.Soc.<u>A111</u>(1926)405
 Relativity Quantum Mechanics with an Application to Compton Scattering 簡単な注釈,メモ.1頁
- S.Smith:Proc.Nat.Acad.Sci.,<u>14</u>,951,1928 Some Multiplets of singly ionized Tl ほかデータ抜き書き.文献は1926 - 1929年
- L.Paulilng:Phys.Rev.34,954,1929,
 Photoionization in liquid and crystals and the dependence of
 the frequency of X-ray absorption edges on chemical constitution
 1. p.1- 3 上記論文要点抜き書き(主として数値の表). "青山・木村・仁科"関連
 2. p.3-14 T.J.Webb: J. of Am. Chem. Soc.48 II (1926)2589
 The free energy of hydrogen of ions and the electrostriction
 of the solvent
 の要点抜粋
- Interferenzerscheinungen, Strehende Wellen, Energiedichte, Energiestromung u.s.w. des elektromagnetischen Feldes 双極子輻射についての古典電磁気学考察ノート.13頁. 2つのヘルツ振動子による輻射につき、電磁場、エネルギー損失、ポインティング・ベクトル、エネルギー密度等を計算、重ねあわせによる干渉の様子を考察.光子と電磁場との関係についての疑問提出.平面波を完全反射体に当てるときの定常波の様子を考察.
- Schrödinger wave and de Broglie wave(場の量子化についての考察ノート)
 Schrödinger wave と de Broglie wave の概念的相異を強調する議論.
 de Broglie wave は3次元空間における波動,その座標は3次元空間の座標,この波動場を量子化すると粒子性が生じる. Schrödinger wave は元々粒子を記述するもので,そこに現われる座標は粒子の位置を意味し,平は確率を与える.
 Schrödinger wave と de Broglie wave の外見の一致は,一粒子問題の場合のみ.
 Maxwell wave も光子についての de Broglie wave に相当するもの,という論旨.
 朝永:量子力学 II p.180 183 にも同様の立場の議論が展開されている.
- 140 特殊相対論ノート 1 枚 光速度不変の仮定よりローレンツ変換を導く議論. 2頁. これだけでは未完, No.145 に続くと見られる(No.145 の裏面の下半分).
- Para,Ortho Helium Para,Orthoの図解 2頁.levelの図 1頁

142 計算

No.91の結果を導く計算メモと角分布の数値計算 18頁, No.144へ続く. 最後の2頁は仁科の筆跡ではないかもしれない(Klein?)

- 143 s,p,d 型の角関数についての計算 s,p軌道の角関数の 1次結合と,d軌道の角関数の 1次結合とり,xy-,yz-,zx- 面に異方性をもつ直交関数系を作る.8頁
- 144 数値の表

No.91, No.142に続く角分布の数値計算の結果.6頁 n=6, λ =2R, λ =R の場合につき角分布の表.及びこの結果を出すための各項の値のメモ

145 特殊相対論ノート

表: No. 140と同趣旨のものだが No. 140ほど整っていない 裏: 上半分 ドップラー効果についてのメモ(走り書き図). 下半分 No. 140 より続くと見られるメモ 1枚. 切り取り箇所あり. No. 140とともに留学前のものと思われる

- 146 計算メモ 点電荷の場についての式とDirac方程式における電磁場との相互作用項のみ取り 出した式等の計算メモ、9頁
- 147 式計算 摂動によるエネルギー値のずれの計算,水素分子型の波動関数の計算などのメモ が混在する.途中にX線に関するメモあり.29頁
- 148 相補性に関する考察 独文メモ付.4頁
- 149 Schrödinger 方程式の基礎的勉強 水素原子の波動方程式,エネルギー固有値,波束についての議論, 時間を含むSchrödinger方程式,波動力学と行列力学の関係等.12頁. 頁番号の付け方から見て,3種類のメモが混在していると思われる

※ 相補性論文 ※

- 150 英文校正刷およびタイプコピー草稿
 Nature Middle 1-4
 書き込み,修正はKlein,仁科(?)の筆跡.デンマーク語の修正指示あり
 Eと名づける
- 151 英文校正刷, 差込用タイプ草稿, および鉛筆書き草稿 Nature - Middle 1-3. Klein, Bohr の書込あり. デンマーク語の書込あり E'と名づける
- 152 英文タイプコピー草稿 section 2 . Klein の書込, 手書部分あり
- 153 英文タイプコピー草稿 pp.4-7(小さい紙片をふくむ)および3枚 Klein の書込,手書部分あり.デンマーク語の書込あり
- 154 英文タイプおよび手書き草稿, section 5 Klein, Bohr の書込あり、デンマーク語の書込あり
- 155 英文校正刷 Nature - Middle Article-1 R Klein の書込,日本語の書込"論理不明"あり
- 156 英文タイプコビー草稿 最初の部分,1部分タイプで修正. Bohr(?), Betty Schultz の書込あり Aと名づける
- 157 独文校正刷 Naturwissenschaften 5.11.27 仁科書込あり Dと名づける
- 158 独文タイプコピー草稿, section 4 Bohr, Schultz の書込あり. Klein も? Cの1部分
- 159 独文タイプ草稿, section 5Bohr,仁科書込あり、デンマーク語の書込ありCの1部分

- 160 独文タイプ草稿 最初の部分. 脚注が補強されている Bohr, Klein, Schultz, 仁科書込あり. ボーア研の便箋2枚付 Cの1部分およびDの1部分
- 161 独文タイプコピー草稿 No.160のコピー Bohr,Klein,Schultz 書込あり
- 162 独文タイプコピー草稿, section 5 No.159のコピー, Klein or Bohrの書込あり
- 163 Como ConferenceでのBohrの挨拶原稿 (英文) Bohrの手書メモあり
- 164 英文原稿断片および差し込み文書 (4部分に分かれている)など 仁科, Klein, Bohr, Schultz の書込あり F, G, Hと名づける
- 165 独文原稿断片 5 部に分かれている. B, Cその他の断片 Bohr,Klein,仁科の書込あり

☆ Klein-Nishinaの公式 ☆

以下関連する4論文を次のような略号でしめす. ただし Z.Phys., Natureに共通のものは、単に K-N, N であらわす.

略号 論文

K-N/ZP O.Klein und Y.Nishina,Z.Phys.,52(1929)853, Über die Streuung von Strahlung durch freie Elektronen nach der neuen relativistischen Quantendynamik von Dirac

k-N/N O.Klein and Y.Nishina, Nature, 122(1928)398,
The Scattering of Light by Free Electrons
according to Dirac's New Relativistic Dynamics

N/ZP Y.Nishina,Z.Phys.,52(1929)869,
Die Polarisation der Comptonstreuung nach der Diracschen Theorie des Elektrons

N/N Y.Nishina, Nature, 122 (1928) 843,
The Polarisation of Compton Scattering according to Dirac's New Relativistic Dynamics

- 166 K-N/ZP, N/ZPの校正刷 仁科の疑問に答えるKleinの書込あり. 手紙 No.358に同封されていた
- 167 N/ZPの手書き原稿 一部定稿と異なる点あり
- 168 K-N: Dirac方程式に関するメモ
- 169 静磁場中での原子内電子の波動関数と Larmor の定理に関連 文献からの抜き書きらしい
- 170 N/N のタイプ原稿
- 171 K-N/ZPのうち2箇所についての考察メモ
- 172 N/ZP: 全過程の計算メモ 一部同種の計算の反復を含む

- 173-1 K-N/ZPについての考察メモ 新たな処方 (Klein導入) による以前の計算のチェック. 最後の1頁, 散乱係数 の表式[K-N/ZP (61)式]をα=hν/mc²について展開してDiracの結果と比較. はさまれていた Kleinの書簡(Oct 27,'28)を173-2とする
- 173-2 Klein から 仁科宛の書簡 Copenhagen 27.10.1928. No.173-1にはさまっていた
- 174 "Lösung der Wellengleichung für das Elektron in Gegenwart einer ebenen Lichtwelle"
 K-N/ZPにおいて散乱波の強度計算の処方までの要点を整理したノート
- 175 N/N:手書き原稿
- 176 Darwin 8.4.27. コロキウムノートか. スピンに関連
- 177 N/ZP:全過程の要点を整理して記したノート
- 178 K-N: 散乱波の磁場Hの表式より | H | *を導くための計算メモ(未完)
- 179 N: 散乱電磁波の(電場成分)²の計算メモ N/ZP (13)式
- 180 N: 右手直交形をなす単位ベクトル {j, k, 1} の成分の積の計算 [1の方向についての平均]
- 181 N/ZP: 全過程の計算メモ 電子スピンの初期状態の条件が No.172と異なる
- N: 楕円偏光入射波に対する散乱波の強度の計算 入射,散乱方向の条件は No.181 より一般化 K-N: 数値計算,定義式 tanθ = sinθ(1+α(1-cosθ))/[(1+α)(1-cosθ)] によってθをあたえてθ。をもとめる.
- 183 K-N/ZP (60)式による散乱波強度の角分布 (RaCのγ線につき)
- 184 K-N:数値計算 No.183のための対数計算メモ

- 185 K-N:数値計算 RaCのγ線の散乱強度, Dirac 理論とK-N 理論による値を併記
- 186 K-N : 実験データ引用
 RaC のγ線の波長成分の強度比らしい
- 187 K-N:数値計算 RaC のγ線につき散乱係数と透過減衰率 Dirac 理論とK-N 理論による値を併記
- 188 K-N:実験データ引用 RaCのγ線の散乱の角分布と透過減衰率
- 189 K-N: | 散乱波の磁場 | °の計算の一部分
- 190 N: 楕円偏光入射波に対する散乱波の | 磁場 | 2の計算
- 191 N: 散乱波の磁場を, 2つの互いに incoherent な楕円偏光に分離する計算 N/ZP: (1),(2) K-N: | 散乱波の磁場 | ² の結論 K-N/ZP: (58),(59)
- 192 K-N: 散乱波のベクトル・ポテンシャルの計算
- 193 文献学習ノートか? 原子内電子を Dirac方程式で扱う内容らしい 末尾に摂動論についての考察メモあり
- 194 K-N: 静磁場中の Dirac方程式の解を求める計算メモ Klein の筆跡. 自転車の落書あり
- 195 K-N : 表題 "Hamiltonian of electron in constant homogeneous magnetic field" 静磁場中の Dirac方程式の解を求める方法を整理して述べたノート
- 196 K-N: 散乱波のベクトル・ポテンシャル, 磁場の表式より散乱波強度の角分布の結論を導く過程の計算メモ K-N/ZP: (60) 式を導出したメモとして重要. Diracの式に対する補正の形で結果をあらわしている (p.11を理研〇B会報28号原稿に付図として利用)

- 197 K-N: 輻射場中の Dirac方程式の解, 散乱波のベクトル・ポテンシャルを 求める計算メモ
- 198 K-N: No.197とほぼ同等の計算. 処方, notation等がそれとすこし異なる. Kleinの筆跡 (p.11,p.12)
- 199 K-N: 散乱波のベクトル・ポテンシャル, 磁場の表式についての計算メモ
- 200 K-N: 散乱波のベクトル・ポテンシャル, 磁場の表式 [電流密度の表式として K-N/ZP とは異なる形を採用]
- 201 K-N: 初期段階のメモの断片を集めたもの
 - 1) 輻射場中の Dirac方程式の解→散乱波のベクトル・ポテンシャル→ |ベクトル・ポテンシャル|*の計算
 - 2) スピン状態についての平均を考察したと思われるメモ
 - 3) 自由電子についての Dirac方程式の解の性質に関するメモ. Kleinの筆跡を含む
 - 4) 輻射場中の Dirac 方程式の解を求める試み
 - 5) 静磁場中の Dirac 方程式の解を求める試み
 - 6) 散乱波のベクトル・ボテンシャルの計算(断片)
 - 7) Dirac方程式における連続の式と電流密度の表式、Kleinの筆跡を含む
 - 8) クーロン・ポテンシャル中の Dirac 方程式
 - 9) 雑メモ、Kleinの筆跡を含む
- 202 K-N: Klein-Gordon方程式につき輻射場中の摂動解,電流密度, 散乱波のベクトル・ポテンシャル
- 203 K-N:電流密度を波動関数とその微分で表わす表式 (Klein-Gordonの理論流に). 主として Kleinの筆跡
- 204 K-N:輻射場中の Dirac 方程式の解を求める計算
- 205 K-N:静磁場中の Dirac方程式の扱いに関連すると思われるメモ (psを消去する変換を模索). Kleinの筆跡を含む
- 206K-N: 静磁場中の Dirac方程式の解境界条件の考察を含む. No.206,207,208は静磁場中のDirac方程式の解につき、
Bessel関数型の近似解,共役な方程式の解に関するもので No.195の p.9 p.17に対応する. Klein の筆跡

- 207 K-N: 静磁場中の Dirac 方程式の解の重ね合わせよりH→0として 平面波解を得る過程, Klein の筆跡
- 208 K-N : 静磁場中の Dirac方程式の解の境界条件に関連するメモ Klein の筆跡
- 209 K-N:静磁場中のDirac方程式の解に関する断片的メモ Dirac方程式を極座標表示でBesselの微分方程式に導く試み、厳密解を模索する 試みなど、Klein の筆跡
- 210 K-N:断片的メモ 静磁場中のDirac方程式,輻射場中のDirac方程式,ある種の変換を考察したもの Klein の筆跡. 馬の絵あり
- 211 K-N:自由電子の Dirac 方程式に関するメモ 主として Klein の筆跡. p.4は主として仁科の筆跡
- 212 K-N: Klein の筆跡によるメモ3種
 - 1) "Solution of wave equation in presence of radiation field"
 - 2) "Solution of wave equation for electron in presence of radiation"
 - 3) "Eigenfunction in presence of magnetic field"
- 213 K-N: Dirac方程式の解を模索する断片的メモ 静磁場中のDirac方程式,自由電子のDirac方程式(球座標表示)の解を求める試み の断片の集合.主として Klein の筆跡
- 214 K-N: 断片の集合、表題 "Lundeborg前"
 - 1) 静磁場中の Dirac方程式のうち θ を消去する変換に関するもの
 - 2) 電流密度を波動関数とその微分で表わす式の導出に関するメモ
 - 3) スピン空間における回転を考察したメモ、Klein の筆跡を含む。
 - 注.表題のLundeborgは Fyn島東南海岸の保養地、Klein-Nishinaの共同研究の 仕上げはここで行なわれた(1928年7月)
- 215K-N : 輻射場中の Dirac方程式の解に関する断片的メモNo.212 2) に関連. Klein の筆跡
- 216 クーロン・ポテンシャル中の Dirac 方程式 Dirac: The Quantum Theory of the Electron の文献学習、Kleinの書込あり

217 K-N/ZP:別刷

218 N/ZP : 別刷

- ※ 教材 ⇒ タイプ原稿及びコピー
- 219 Quantum Mechanics and Radioactive Disintegration R.W.Gurney and E.U.Condon
- 220 The Schroedinger Wave Equation
- The Use of Rectangular Potential Curves f寸. Nuclear Levels and Artificial Disintegration, Ronald Gurney. IPCR _th Feb. 1929
- ◎ 論文原稿・草稿 ※
- 222 On the Negative-Energy Electrons
 Nishina and Tomonaga, Jap.Jour.Phys. 9(1932)No.1
 手書き草稿、タイプ原稿、校正刷
- On the Creation of Positive and Negative Electrons. (Short Note).

 Nishina and Tomonaga, Proc. Phys. Math. Soc. Japan, III, 15(1933), 248-249
- 224 Studies of Cosmic-Rays with the Wilson Track Method Nishina, Sagane, Takeuchi and Tomita ほか3篇(うち一つは上記のもののタイプコピー)
- | Study on _____ by Means of _____ | By Yoshio Nishina | 理研彙報用原稿か?
- 226 On the Annihilation of Electrons and Positrons Nishina,Tomonaga and Tamaki Received Aug.25,1934 鉛筆書き草稿,タイプ原稿,校正刷. Received Aug.25,1934
- 227 Energy Spectrum of Positrons from Radio-phosphorous ₁₅P³⁰ (activated Aluminium)
 Nishina, Sagane, Takeuchi and Tomita

- On the Photo-electric Creation of Positive and Negative Electrons Nishina, Tomonaga and Sakata Supplement to vol. 24, No. 17, 9.5.12.
- ※ 解説原稿・草稿 ※ 仁科財団に別刷のあるものについては、誌名、巻、号などを記入する
- 229 量子論と因果律に就て 附. Bohr 研究所の話 電気学会雑誌497号,昭和4年12月(別刷あり)
- 230 原子核破壊用電源 「動力」37号、日本動力協会(別刷あり)
- 231 最近に於ける物理学の発展 昭和11年11月15日経済倶楽部定例午餐会に於て 「経済倶楽部講演110」昭和11.1.30. (別刷あり)
- 232 原子核と放射線 (本論文は第13回日本レントゲン学会総会に於ける特別講演の速記録を著者自身 校正されたるものなり).別刷あり
- 233 界面化学 名誉員 アービング・ラングミューア 仁科 訳 電気学会雑誌55巻4冊561号,昭和10.4.,pp.304-314 (別刷あり)
- 234 ハイゼンベルク(W.Heisenberg) とディラック(P.A.M.Dirac)との 量子物理学樹立に於ける業績 東洋学芸雑誌第557号(10月号付録),校正刷 6月14日東京日日の記事を敷衍した・・・とあるが、これを赤インクで消して ある、校正刷を理研彙報の原稿として転用したらしい、別刷なし、
- 235 量子論諸問題 (ハイゼンベルク,ディラック講演翻訳) 啓明会講演集 初校 (啓明会紀要第11号,昭和6年10月) 注.実際の出版は昭和7年4月.
- 236 量子論請問題 (ハイゼンベルク,ディラック講演翻訳) 啓明会講演集 再校

- 237 量子論諸問題(ハイゼンベルク,ディラック講演翻訳) 啓明会講演集 三校 序文およびハイゼンベルク講演の部分
- 238 量子論諸問題(ハイゼンベルク,ディラック講演翻訳) 啓明会講演集 三校 ディラック講演の部分
- 239 量子論諸問題 (ハイゼンベルク,ディラック講演翻訳) 啓明会講演集 四校
- 240 量子論諸問題(ハイゼンベルク,ディラック講演翻訳) 啓明会講演集 五校
- 241宇宙線の話中央公論原稿.原稿末尾に昭和10.5.1とある.pp.289-295 (別刷あり)
- 242 宇宙線とは何にか 原稿 雑誌名不明,図の部分が切り取られている。
- 243 光と物質との相似と相異 「理科教育」14巻4号および5号(理科教育研究会) 木村健二郎先生よりいただいた別刷あり
- 244 中性子の話 原稿,中外商業新報社学芸課名の封筒に収納.同社は「産業経済新聞」の前身. 昭和11.1.29-2.4まで6回にわたって掲載. 東大新聞研のマイクロフィルムよりのコピーを1990.10.16入手(矢崎)
- 字亩線 (Cosmic ray, Höhenstrahlung, Ultra-γ-Strahlung, Hesssche Strahlung, Ultrastrahlung) 研究の現状 草稿およびメモ、日本学術協会報告6巻、昭和5年度、別刷あり、
- 246 宇宙線の話 (1),(2),(3),(4),(5)
 新聞切抜 紙名不明.これとほとんど同内容の別刷(?)があるが、誌名その他記載なし.別刷は縦書、2段組、シャワーの霧箱写真あり.
 (5)に"去る八月・・・富士山で・・・"とある.
- 247 理化学研究所の巻(11) 新聞切抜 紙名不明 中性子研究の記事

- 248 人工放射能 草稿 「科学」5巻1号,1935,pp.14-17 別刷あり。
- 249 富士山に於ける宇宙線の研究 草稿 雑誌名不明(石井千尋筆跡)
- 250 人工放射能 草稿 雑誌名不明だが、ほぼ同内容、サイズほぼB5、縦書、2段組、総ルビ、 図1、写真2挿入、最後に(1934.11.23 縦書、漢数字)と記した別刷あり、 P³⁰のベータスペクトル、霧箱略図などあり、No.248との関連?
- 251 Langmuir 博士の来朝 草稿 「科学」5巻1号,1935,pp.29-32 これとペアになった資料がある筈
- 252 界面化学 No.233の草稿
- 253 宇宙線の話 No.241の草稿
- 254 P.A.M.Dirac:The Principle of Quantum Mechanics,2nd ed.1935 の紹介 草稿
- 255 株父宮御台臨の際 (原子核) 説明文草稿
- 256 秩父宮御台臨の際(宇宙線) 説明文草稿
- 257 宇宙線の話 草稿 2種 雑誌名不明. No. 246とほぼ同内容. "宇宙線の性質と本体"
- 258 科学界のトピックス 草稿途中まで、1 枚のみ、雑誌名不明
- 259 宇宙線の話 草稿 雑誌名不明 放送原稿? "今晩は理化学研究所の自分の研究室に於いて・・・"

- 260 中性子の話 草稿 雑誌名不明. No.244の草稿らしい
- 261 宇宙線の本質 草稿 「科学」4(1934)4
- 262 宇宙線 草稿 (No.261の最初の部分の草案らしい) "「宇宙線」と訊かれた時「何だか判らぬ」・・・"
- 263 宇宙線 草稿 「科学知識」14巻 4号、別刷あり(記事の終わりに9.3.4と印刷)、 裏表紙にある印刷日付は昭和9年4月、"読者諸君は新聞紙や・・・"
- 264 表題なし ノーベル賞物理・化学の部の受賞者(中性子の発見)についての解説. ジョリオ夫妻,チャドウィック
- 265 キュリー夫人についての新聞記事 切抜および英文資料
- 266 キュリー夫人と今日*の*物理学 草稿
- 267 現今の物理学より見たる化学 原稿 「工業化学」(社団法人工業化学会原稿用紙)
- 268
 宇宙線の話

 原稿
 「ラヂオの日本」
- 269 Bohr教授を迎へて 原稿 "多年待望の宿題であったBohrさんの招聘が・・・(昭和12.3.14)" デュッセルドルフの学会の折ボーアに寄せ書きしたことなども見られる。 原稿返却先として本郷区曙町19仁科を指定、1937年4月12日付「帝国大学新聞」 所載、東大新聞研にて矢崎コピーし、1990.10.2.仁科財団のファイルに納める。
- 270 清水隧道に於ける宇宙線の測定 原稿 「土木工学」5巻10号pp.674-678(昭和11.10). 別刷あり

271 理化学辞典(?)草稿,校正刷,表題を記入した紙片 Franck-Hertzの実験,クラインの迷論,・・・ 校正刷は「ウ」の一部分のみ、必要な部分が切り取られている。

₩ 展示品 ₩

- 272 「不審」 Bohrの相補性論文に関連したもの
- 273 ロンドン・ゲッチンゲン日記 1922年9月4日(月)より1923年3月3日まで断続的に記事あり
- 274 ノート Restricted Principle of Relativity No.273 と同種の用紙
- 275 ノート Bohr:Linienspektren und Atombau, Kayser Festschrift Ann.d.Phys. 71(1923)228. これはBohrの全集 Vol:4,p.549以後に掲載されている. sec.1 -sec.6の途中までで、No.88に続く、No.273 と同種の用紙
- 276 ノート I.Kinetische Theorie der Gase No.273 と同種の用紙(縦長)
- 277 アメリカ物理学会会員証 1930年2月21日付
- 278 アルバム 小サイクロトロンの写真
- 279 陶磁器カタログ
 Den Kongelige Porcelainsfabriks Udsalg, Amagertorv 6, København K
 1929年4月4日付の送状あり
- ※ 見学記その他 ※
 - 280 通信工学ノート 1.Atmospheric

- 281 講演ノート 「相対性原理並に万有引力論」 石原 純 "・・・余の考え.・・・"
- 282 ノート 「Das Relativitätsprinzip」 引用:哲学雑誌 第34巻 390,391,392号 石原 純 1920.12.9.日記参照
- 書籍カタログ 「Modern Electrical Theory, Chapter XVI Relativity」, Norman R. Campbell Bowes & Bowes, Cambridge のゴム印あり
- 284 メモ 「結晶をみがく方法」 付.1."Das Prinzip von Rayleigh u. Jeans, A.Haas:Einfühlung in die theoretische Physik II,S.93 2.Steeg u. Reuter あて独文手紙書きかけ(ボーア研究所便箋) 3.メモ
- 285 ノート 「Effect of the width of a slit on the absorption measurement」
 Kuhn's idea, Mark's idea, My idea・・
 文献メモ Füchtbauer u. Hoffmann ほか. Holtsmark, Kuhnの書簡(No.336-340)に
 関連あり、No.340(Kuhn)に同封されていた。
- 286 ノート 「Natürliche Breite u. Druckverbreiterung von Spektrallinien」
 R. Hinkowski, Z. Phys. 36, S. 839, 1926
 Holtsmark, Kuhnの書簡(No. 336-340)に関連あり.
 No. 340(Kuhn)に同封されていた.
- 287 グラフ Square-root of energy levels(√T/R) vs Z M,N,O について. 墨入れしてある. Phil.Mag. 原稿用らしい
- 288 訪米記第1部 Nov.12-13,1928 Hotel Bartram,Philadelphia の便箋
- 289 訪米記第2部 Nov.14-Dec.10(Monday),1928 乗船後の日記を含む

- 新聞切抜(カリカチュア:Smyth,Langmuir,Wood,Condon,&c)
 "Harry Neigher get two earsful at Fall Meeting of the National Academy of Science in Schenectady and he finds fun,too."
 No.288,No.289 関連
- 291 新聞切抜 (Dr.R.A.Millikan)
 "ADD BILLION YEARS TO LIFE OF WORLD"
 No.288, No.289 関連
- 292 ハイゼンベルク,ディラック講演会案内状,日程表 昭和4年8月20日付,啓明会理事長 平山成信,理研理事長 大河内正敏連名 東大文学部29番,理研講堂:9月2日(月)-7日(土)
- 実験ノート 「Extra3」 X線実験 Dr.Steeg u. Reuter の crystal…,N88 PtLα,-TaLα, 0.09XU too small etc ノートのメーカー: C.Ferslew & Co.Papirhandel,St.Kongensgade 24
- 294 実験ノート 無表題(サイクロトロン実験らしい) 日付記録2月25日夜など、矢崎為一ほかの筆跡あり、 Lawrence-McMillan-Thornton の論文表題 Lawrenceあて手紙下書(矢崎筆跡)の一部あり
- 295 実験ノート 「Electroscope No.2」日付記録3月28日(火)など、Ag, Hg, Baと書いたタブがついている。 「麻の実」,「朝顔」などの記事あり。
- 296 実験ノート 「Experimental Results」 矢崎筆跡らしい. 日付記録3月31日夜など. "・・・cyclotron による仕事. Phys.Rev.vol.51,No.9,May1,1937"
- 297 勉強会教材 The Theory of Atomic Collision, N.F. Mott & H.S.W. Massey, 1933 p. 22裏に書込あり

299 勉強会敦材

Remarque sur la constitution des noyaux atomique.I. K.Guggenheimer: J.d.phys. et le Radium, Tom V, 1934, pp. 253-256

300 勉強会教材

Arnold Sommerfeld: Wave-Mechanics, pp. 290-298, 1930. 式は記入されていない

301 勉強会教材 No.300 と同じ. 式は記入されていない

302 勉強会教材 No.300 と同じだが式が記入されている

303 勉強会教材

Note on the Theory of the Interaction of Field and Matter J.R.Oppenheimer: Phys.Rev.,35(1930)461-477 式は記入されていない

304 理研研究室名(英文)

1.Okochi Laboratory --- 9.Workshops 鉛筆で Professor Jackson と記入されている

305 ファラデー肖像

306 仁科と無関係の資料 特許関係書類写真コピー 東京電気:蛍光電灯(大正13年公告)ほか

307 仁科と無関係の資料 「Colloquium diagram」 1947-1952のペーパー表題

308 仁科と無関係の資料 「タングステン鍍金について」 昭和24年1月30日 国際基督教大学研究所研究生 佐藤 信

309 写真乾板 コックロフトか?

1		年 -1900	月	日	発信者 発信地 注 注の続き	受信者
					*	
	310	23	10	13	Nishina	Borelius
					Copenhagen	C # 111_ 1 1 + 67 - 13 - +
					スカンシナビア 見子がiT化状	下書. Uppsala,Lundを経て帰った
	311	23	10	13	Nishina	Arrhenius
					Copenhagen	
					スカンジナビア見学旅行礼状プ	下書
	312	23	10	13	Nishina	Löfgren
					Copenhagen	
					スカンジナビア見学旅行礼状で	下書 (Trollhättan 水力発電所)
					T.Nawa, T.Ohga	
	313	23	10	13	Nishina	Bjerknes
				ř	Copenhagen スカンジナビア見学旅行礼状 [*]	下書 (Bergen)
					スカフタ / C / 元子/M ITUK	LE (Dergen)
	314	23	10	13	Nishina	Benedicks
					Copenhagen	
					スカンジナビア見学旅行礼状で	下書
	315	23	10	13	Nishina	Westgren
	- 010	20	10		Copenhagen	
					スカンジナビア見学旅行礼状	下書
	010	20	10	1.0	Walter	Varand
	316	23	10	13	Nishina Copenhagen	Vegard
					スカンジナビア見学旅行礼状	下書
					"I shall work in this inst:	
	317	23	10	13	Nishina	Wiberg
					Copenhagen	
					スカンジナビア見学旅行礼状	下書 (Finpong 発電所)

18 23 10 13 Nishina Hallin Copenhagen スカンジナビア見学旅行礼状下書 (Finpong発電所) 19 23 10 13 Nishina Lindh Copenhagen スカンジナビア見学旅行礼状下書 20 23 10 13 Nishina Leire Copenhagen スカンジナビア見学旅行礼状下書 (Finpong発電所) 21 23 10 13 Nishina Riesenfeld Copenhagen スカンジナビア見学旅行礼状下書 22 23 10 13 Nishina Siegbahn Copenhagen スカンジナビア見学旅行礼状下書.シガー,ハンカチを贈る 23 23 10 13 Nishina Sjöström Copenhagen スカンジナビア見学旅行礼状下書 24 23 10 13 Nishina Swedberg Copenhagen スカンジナビア見学旅行礼状下書 25 23 10 15 Nishina Seydel ベルリンに残した蔵書発送依頼 26 23 10 17 Nishina Thomas Cook & Sons 船賃など問い合わせ 27 g 発信リストの1 Thomas Cook, Seydel, 大賀, Dowsonほか

329 24 10 23 Studien Gesellschaft * Nishina 8月22日付問い合わせに対する返事 ≎f.el.Beleucht. 330 24 Nishina J. Hauff & Co Copenhagen ドイツのX線乾板の商会からの5月7日付手紙に対する返事下書 331 25 6 Nishina Coster Copenhagen 共著論文に関する打ち合わせ下書 332 25 3 25 Nishina Francis Copenhagen Phil Mag 別刷増刷値段問合せ 333 25 4 22 Auer Hevesy Schloss Welsbach, Kärten Hf, Ho, Dy, Yb, Y 5 26 Nishina Chamberlain, K. 334 25 Copenhagen 疑問提起への反論 335 25 6 10 Glocker Hevesy Stuttgart Coster—Nishina の論文について問合せ 336 26 6 Nishina 6 Holtsmark Copenhagen 光学吸収スペクトル絶対強度測定の方法をX線領域に適用することに ついての問合せ 337 26 6 9 Holtsmark, J. Nishina Trondhjem 6月6日付問合せに対する返事. Minkowskiなどの論文を紹介

33	38 26	8	8	Kuhn,W. Zürich 分解能とX線吸収スペクトル約	Nishina 色対強度測定についての議論
33	39 26	10	25	Kuhn, W Zürich IBIIフペクトルとついて Dan	Nishina skeのリプリント、NO.81, No.83 - 86
34	10 26	12	14	関連 Kuhn,W. Zürich	Nishina
34	11 27	11	25		Hevesyを訪ねた. 同封されていた関連 い)はNo.285,286として分離した Nishina
34	12 27	11	26	Nishina Hamburg 結晶に関する質問	Steeg & Reuter
34	43 2'	7 12	5	Steeg & Reuter Bad Homburg v.d.H. 返事.関連メモ(No.284/結晶	Nishina 晶をみがく方法)が別にある
34	14 28	3 9	6	Skobeltzyn,D. Leningrad コペンハーゲンのγ線散乱の	Jacobsen 新理論を実験と比較する
34	1 5 28	3 9	10	Skobeltzyn,D. Leningrad γ線散乱の実験.No.346に同動	Jacobsen 対されていた
3	46 2	3 9	23	Skobeltzyn,D. Leningrad	Nishina
3	47 2	3 10	2	air mail. N—Sk Sep14への返 SkobeltzynよりJacobsenあての Skobeltzyn,D. Leningrad 実験カーブ在中	事, 実験カーブ在中. D手紙 2通 (No.344,345) 同封 Nishina

348 28 10 16 Skobeltzyn, D. Nishina Leningrad 9月24日,10月2日付手紙受け取ったか? 349 28 11 18 Hevesy Nishina Freiburg 別離を悲しむ,新しい地位の可能性,仁科の将来に対する激励 350 28 11 27 Mogensen, R. Nishina Copenhagen (デンマーク語・) 帰国途次の手紙への返事、Ruth Mogensen (消印Kobenhavn K) 351 28 11 26 Rasmussen, A.E. Nishina Odense (デンスーク言語。) 発信者は筆跡より推定: Dr.H. Leviによる英訳あり、帰国途次の手紙 への返事. Anna Elisabeth Rasmussen addr.:Tholsgade 30,Odense 352 28 11 27 Nielsen, Emilie Nishina Vanløse 帰国途次の手紙への返事、デンマーク語 353 28 11 27 Wrang, E. Nishina Odense 帰国途次の手紙への返事。デンマーク言言 354 28 11 28 Lindby, Laura Nishina Odense 帰国途次の手紙への返事. ディーフ語 No.351-355 は大型封筒に同封 L.Lindby 名で送られた 355 28 11 -Rasmussen.A.E. Nishina Odense 日付は Julen 1928 と書いている。 デンマーク きき 356 28 11 28 Thalbitzer, A.M. Nishina Hellerup 帰国挨拶への返事、デンマーク語 addr. Villa Manitha, Hellerup 357 28 11 29 Rude-Jensen.N. Nishina -1 Bagsværd 帰国途次の手紙への返事・デンマーク語 357-1,2,3,4は同封 N.Rude-Jensen 名で発送された

357 -2	-	-	=	Rude-Jensen, Viola Nishina
				帰国途次の手紙への返事、ランマー7.5号
357 -3	28	11	29	Edvardsen, G. Nishina Bagsværd
				帰国途次の手紙への返事。テンマークミラ
357 -4	-	11	29	Edvardsen, Gudrun Nishina Bagsværd
				帰国途次の手紙への返事・テンマーク語
358	28	12	2	Klein, O. Nishina Copenhagen
				仁科単名論文校正の件. 論文 2通の校正刷(書きこみあり)が同封されていたが、これらはNo.166として分離した
359	28	12	2	Thalbitzer, Betty Nishina Copenhagen
				年賀. ハガキ 消印 København K
360	28	12	5	Schultz Nishina Copenhagen
				帰国途次の手紙への返事. コペンハーゲンの近況
361	28	12	.11	Møller,O. Nishina Hellerup
				帰国挨拶への返事・アンマークを記
660780313	01000000	11210	1202	Otto G.(?) Møller address:A.N.Hansens Alle 22
362	28	12	12	Skobeltzyn Nishina Leningrad
				封筒のみ これに仁科の手紙の下書あり
363	28	12	13	Maar, M. Nishina Copenhagen
				帰国途次の手紙への返事. 近況. 消印 Copenhagen Ø Mariane Maar address:Livjægergade 14-1
364	28	12	18	Aagesen, Fr. Nishina
: 3.5.5.5		7.7		Fredensborg
				帰国途次の手紙への返事.エハガキ・デンマークミラ
				addr. Veksebo Skole pr. Fredensborg

365 28 12 16 Klein.Y.Inge/* Nishina Hellerup (三)2-7台,映意,宛山珠語。 年賀状. Asanoは浅野和(?)五三. addr:A.N. Hansens Alle 4 *Klein, Ellen/Asano/ 366 28 12 19 Dirac Nishina Cambridge 訪米・訪日の日程連絡、余白、裏及び封筒裏に返書のための下書あり 367 28 12 24 Jaeger, Mutter und Sohn Nishina Berlin 別れの挨拶への返事. 発信者については, 仁科-Bohr (4 Apr. 1923)の addr.:bei Frau Jaeger,Schross-str.17,Charlottenburg を参照 368 28 12 24 Jap, L. Nishina Kobe, on board Tenyo Maru Yap Lui-sit or Louise Jap, 封筒:Mrs.Jap Chu-Phay, Amoy, Fukien, China. 仁科記念室A-3-6引出に Jap Chu-Phay氏reprintあり 369 28 12 8 Høst,C.W. Nishina Copenhagen 年賀. 宛書は高嶺となっていたが実は仁科あてハガキ. 日付は消印に よる. Chr.W.Høst addr. Nørrebrogade 40,København N 370 28 12 25 Gurney Nishina Mt.Wilson Observatory 2日サンフランシスコ発 18日横浜につく 371 28 12 29 Kuhn, W. Nishina Heidelberg 鉛の同位体について. Dennison書簡 372 29 7 22 Barfred, Margrethe Nishina Birkerød 礼状. 発信の日付は 22.7.27と書いてあるが、宛先は理研であること と内容から1929年とした. return addr: Ceresvej 12, København N 373 29 1 3 Jap.L. Nishina デンマーク語 Hong-kong, China 無事家族に会った. Louise Jap, Mrs. Jap Chu-phay 374 29 1 6 Barfred, M. Nishina Copenhagen 帰国途次の手紙への返事.近況、デンマーク語

Nishina 375 29 1 23 Klein, O. Copenhagen 仁科単名論文の誤り訂正について 376 29 1 24 Thalbitzer, A.M. Nishina Hellerup エハガキ、木村によろしく。デンマーク語 Nishina 377 29 2 14 Werner, Sven Copenhagen 帰国途次の手紙への返事. 転居通知. 封筒裏に Agnete Poulsen, Bodil P.のメッセージあり(英文, 仏文) 378 29 2 21 Yap.L. Nishina Атоу 近況. 立大教授根岸由太郎名刺同封. Yap Lui-Sit 379 29 2 24 Skobeltzyn Nishina Leningrad -1No.379-2,3,4同封 379 -₹ Preprint: The angular distribution of Compton recoil-electrons -2 Jan 22, Leningrad 3 表 379 Number of recoil-electrons in different angular intervals -3 ₫ グラフ 379 Distribution of recoil electrons -4 Nishina 3 Tom 380 29 3 London 帰国途次の手紙への返事. 近況. addr.: 35, Boundary Road, N.W.8. Nishina 381 29 3 11 Rude-Jensen, N. Bagsværd 天気の話しあり、デンマーク 語

382 29 3 26 Rassmussen, A.E./* Nishina Odense 帰国挨拶への返事らしい *#rang, E./Lindby, L./ 383 29 3 28 Maar.M. Nishina Copenhagen 将来の祝福と激励. 国際小集会の予告. Heisenbergのこと 384 29 4 2 Thalbitzer, A.M. Nishina Hellerup 近況、木村、杉浦、浅野のこと、デンマークを含 4 10 Klein.O./* 29 Nishina 385 (・質語、独語ノルウェー語使用・ノ Copenhagen 国際小集会の折の寄せ書き、スケッチあり(addr. Mimosasti 7) *Klein, G./Rosseland, R./Rosseland, S./Kronig/Jordan/Pauli/ 4 16 Holtsmark, J. /Waller, I. 386 29 Nishina Copenhagen 国際小集会からの挨拶. エハガキ 4 20 Nishina Dirac 387 29 Tokyo Dirac 28年12月19日付に対する返事下書(タイプコピー). 招聘に 関する打合せ 4 20 Nishina Heisenberg 388 29 Tokyo 招聘に関して 4 24 Hevesy Nishina 389 29 Freiburg 4月1日付への返事、結婚の知らせ・・家へ飛んで帰る. フライブルク にとどまることにした, 訪米・訪日の予告 4 25 Zutermann.Frau Max 390 29 Nishina Hamburg ロンドンからの手紙に対する返事. 転居. Pauliのこと. 娘と思われ る人の署名あり、小紙片に元の住所に戻る旨を付記 , る史文 4 26 Vandoevre, Ach. C. 391 29 Nishina Paris 写真送付に対する礼状、イ4文

392	29	4	27	Vedal,M.L. New York	Nishina
				写真送付に対する礼状. 今年 Maria Luisa Vidal	再びフランスへ行く予定.
393	29	4	29	Maar,M. Copenhagen	Nishina
				記念品に対する礼状.国際小 共通の知人の話	集会後のバーティー. Klein 夫妻なと
394	29	4	30	Schultz Copenhagen	Nishina
				記念品に対する礼状. 国際小	集会とその折の遠足、写真のこと
395	29	5	9	Nicholas, W.W. Washington D.C.	Nishina
				別刷送付	
396	29	5	10	Nishina Tokyo	Heisenberg
				4月7日付に対する返事	
397	29	5	11	Dirac Univ.Wisconsin	Nishina
200	00	-	10	訪日打合せ、シベリヤ鉄道に	
398	29	5	13	Klein,E. Hellerup 結婚内祝に対する礼状. 浅野	Nishina デンマーク語。 夫妻のフレー漢字の宛書なり
				Ellen Klein addr:A.N.Han	sens Alle 4,Hellerup
399	29	5	14	Maar,M. Nordskranten Aalsgaarde 仁科の生活,仕事についての	Nishina 激励. 休日を田舎で過ごしている.
400	29	5	17	Klein夫妻のこと Waller,I.	Nishina
				Upsala 仕事のこと. 国際小集会. 桂	井
401	29	5	20	Jap,L. Amoy 種々の感想. Yap Lui-sit	Nishina
				WARREN VERDENBOOTSCOOTSCOOTSCOOTS (1990)	

402 29 5 29 Nielsen, Emilie Nishina Copenhagen 記念品に対する礼状、スウェーデン旅行のこと、ディーク語 No.402-405 は大型封筒に同封, Lindby 名で送られた 403 29 5 29 Lindby, Laura Nishina Odense 記念品に対する礼状、旅行計画、日本語の模写(シベリヤ経由・・) あり、デスツ語 404 29 5 29 Wrang, E. Nishina Odense 記念品に対する礼状,近況, ディーク 法 405 29 5 - Rasmussen.A.E. Nishina Odense 記念品に対する礼状、天気の話、旅行、デンマーク語 406 29 6 4 Thalbitzer, A. Nishina Hellerup デンマーク語について、エハガキ、addr. Villa Manitha, Hellerup 122-7話 407 29 6 11 Nishina Dirac Tokyo シベリヤ鉄道時間表及び経費について 6 11 Nishina 408 29 Heisenberg Tokyo 5月14日付に対する返事. 招聘請演打合せ. 帰国航路の件 409 29 6 24 Høst, C.W. Nishina Copenhagen 結婚を祝う. 近況. 高嶺 , Chr. W. Høst 410 29 6 27 Dirac Nishina Ann Arbor 招聘講演打合せ. 北京訪問の希望あり 411 29 6 28 Werner, Sven Nishina Holte 祝結婚, 花瓶の御礼, 近況. addr. Sovejen 37, Holte

2 29 6 19 Werner, Dorthe Nishina Holte 祝結婚, 近況 7 1 Werner, Sigvart 3 29 Nishina Copenhagen 祝結婚, 近況, 思い出. 4月7日付に対する返事. 消印はHolte, 封筒裏はCopenhagen, 便箋の印刷はKULTORVET 4 4 29 7 7 Thalbitzer.A.M. Nishina Hellerup 近況. 切手のこと. 木村. デンマー2 語 5 29 7 8 Rude-Jensen, N. Nishina Bagsværd オーデンセを訪れた。テンマーク語 6 29 7 12 Skobeltzyn Nishina Paris 5月25日付に対する返事. 別刷受け取った. Z.Phys., 54,686,1929 の別刷を送った 7 29 7 16 Nishina Tokyo 6月27日付に対する返事. ソビエト・中国紛争によるシベリヤ鉄道の 状況について 8 29 7 12 Rasmussen, A. E. /* Nishina デマーク語 Elsehoved 旅先よりのエハガキ、No.418,419は同封(Lindby名), 消印 GUDME.) *Jorgensen, Mrs. M.O./Nielsen, E./Nielsen, Miss/Wrang, E./ 9 29 7 13 Lindby, L./Rasmussen, A.E. Lundeborg 旅先より、A.E.Rasmussenの署名はないが筆跡から推定、ディーク 評 7 20 Klein, Oskar/Klein, Gerda Nishina Meilgaard 休暇でユラン半島の西海岸にいる. 研究所の議論の紹介. 宇宙線 封筒裏 Kimosasti 7, København Brh. 消印 TRANEHUSE 1 29 7 26 Schultz Nishina Treseburg of Harz エハガキ (Teufelsbrücke)

422 29 7 30 Nishina Dirac Tokyo ソビエト・中国紛争によるシベリヤ鉄道の状況連絡 423 29 7 30 Nishina Heisenberg Tokyo 7月5日付に対する返事. 講演題目, 帰国の船便の打合せ 424 29 7 30 Møller.O. Nishina Hellerup 写真に対する礼状、Frieda Kuhnの誕生日、天気の話。テンマーク語 addr. A.N. Hansens Alle 22, Hellerup, København, Danmark 425 29 7 31 Nishina Heisenberg Tokyo 北野丸の件 426 29 8 15 Hevesy Nishina Rhodesia(Victoria Falls) エハカキ 427 29 6 9 Maar, M. Nishina Copenhagen 花瓶のお礼. Klein夫妻, Bohr夫人のこと 428 29 1 2 Gamov Nishina Copenhagen 年賀. 各地訪問のこと. 1929.9.28 付(No.429)に同封 429 29 9 28 Gamov Nishina Leningrad 今日再びケンブリッジへ出発する. No.428か同封されていた 430 29 10 13 Dirac Nishina Cambridge 日本滞在についての礼状. 裏にNo.431あり 431 30 2 13 Nishina Dirac 10月13日付に対する返事下書(No.430の裏). 訪日, リブリント に対する礼状

2 13 Nishina Dirac 432 30 Tokyo 返事下書 (No.431) の清書、No.430に同封 Nishina 433 29 10 13 Kuhn, W Heidelberg 仕事・講義のこと、Copenhagenで Bohr, Klein, Mrs. Maarに会った Nishina 434 29 10 16 Gurney, R Peiping, Nanking 北平の街,長城,南京の様子 Nishina 435 29 2 6 Høst, C. W. Copenhagen 無事帰国を喜ぶ、共通の知人の話、日付は消印による 436 29 11 11 Høst, C.W. Nishina Copenhagen イタリアから帰った Nishina 437 29 11 13 Kuhn, Frieda Hellerup 祝結婚, 共通の知人のこと、ドイツ語で書かれている 封筒裏: Fru F.Kuhn, AN Hansens Alle 22, Hellerup, København ® No.437に同封された新聞切抜 438 -水上バイクによるドーバー海峡横断 439 29 11 13 Rude-Jensen, N. Nishina Bagsværd 写真に対する礼状。仁科の誕生日を祝う、デンマーク 碧 440 29 11 22 Thalbitser, A.M. Nishina Hellerup 最初の部分はデスーク語だがり 仁科の誕生日を祝う. 近況. 大部分英文 441 29 11 25 Hevesy Nishina Freiburg エハガキ (ウェルスバッハ城)

442 29 11 24 Rasmussen, A.E. Nishina Odense 誕生日・クリスマス・新年の挨拶、No.442-445 は同封, Lindby 名で 送られた。デンマーク語 443 29 11 27 Wrang, E. Nishina Odense 年賀、デンマー7 語 444 29 11 28 Lindby, L. Nishina Odense クリスマス・新年の挨拶、デンマーク言語 445 29 11 - Nielsen.E. Nishina クリスマスカード. date Jul 1929. デンマーフ 語 446 29 11 27 Thalbitzer, Gerhard Nishina Copenhagen 祝結婚. 思い出。デンマー7 語 447 29 11 28 Thalbitzer, Hanni Nishina Copenhagen 祝結婚. 独文. No.446 に同封 448 29 12 4 Nielsen, Gerda Nishina -1 Odense 贈物に対する礼状. No.448-1,2は同封, デンマーク語。) 448 29 12 4 Nielsen, Valborg/* Nishina -2 Odense クリスマス・新年の挨拶。デンマーク語 *Nielsen.Knud/ 449 29 12 7 Slater Nishina Leipzig クリスマスカード. 裏に仁科の返書下書(No.450) 450 -Nishina Slater 449 の裏,返書下書

451 29 12 11 Rosseland, S./Rosseland, R. Nishina Cambridge, Mass. クリスマスカード 452 29 12 19 Holtsmark, J. Nishina Trondhiem 年賀. エハガキ Trondhjem. Norges tekniske Høiskole 453 29 12 20 Goldschmidt, V.M. Nishina Göttingen Geochemische Verteilungsgesitzeのコピーの一部を送る 454 29 12 20 Aagesen, Fr. Nishina Fredensborg 近況、エハカキ・デンマーク語 455 29 12 20 Schultz Nishina Copenhagen 近況 456 29 12 23 Pauling, L./Pauling, Mrs. Nishina Pasadena, Calif. クリスマスカード. 結婚を祝す. 返書下書断片あり Linus Pauling, Mrs. Pauling 457 29 12 26 Bohr Nishina Copenhagen 訪日1931年に可能の見込 458 29 12 28 Jaeger, O/Bildermann, L Nishina Berlin 婚約通知. 封筒の宛書はNo.367と同一筆跡. 日付は消印による 459 30 1 3 Goudsmit, Sem Nishina Ann Arbor 昨年春訪欧, Copenhagen国際小集会. 祝結婚. Michiganでの仕事. 余白および裏に仁科の返事下書あり(No.460) 460 Nishina Goudsmit 返書下書(No.459参照), hyperfine str.について質問. Ehrenfest招聘は無理. 小集会の写真はもらった

461 30 1 6 Maar.M Nishina Copenhagen 年賀状に対する返事、病気のこと、Heisenberg,Kleinのこと 462 30 1 7 Thalbitzer, A.M. Nishina c ジャフ語.ン Hellerup 切手の贈物に感謝、日本人下宿人、思い出、封筒裏に仁科筆跡あり (デンマーク語) 463 30 1 9 Heyesy Nishina Freiburg 12月16日付に対する返事. 訪米・訪日の日程 1 10 Jacobsen, J.C. Nishina 464 30 Copenhagen Davis & Barnesの論文、研究の現況、余白に返書下書断片あり Nishina 465 30 1 12 Elliot, A Utrecht 塩素のバンドスペクトル. 核スピン 466 30 1 16 Goetz, A Nishina 仙台への車中 依頼. 東北大訪問中. Alexander Goetz 封筒裏に歌舞伎座, 帝劇出し物リスト(仁科筆跡). 467 30 1 20 Goetz, A Nishina 仙台 帰京の予定日時通知. 京都への予定打ち合わせ 1 24 Goetz, A Nishina 468 30 車中 礼状 469 30 1 25 Waller, I. Nishina Upsala scattering, negative stateの譲論、余白に返書下書途中まであり - Høst, C. W. 470 30 Nishina 1 Copenhagen クリスマスカードに感謝

471	30	6	10	Heitler,W Hiddensee 送られたエハガキまたは写真~ 消印は STRALSUND, addr. z.Z	
472	30	12	18	Steinke Königsberg 別刷送付	Nishina Nishina
473	31	2	23	Upsala	Nishina
				分光器設計に関する問い合わせ に同封されていた	せ. 高嶺一仁科 31年1月16日付(No.707)
474	31	3	17	Hund, F Leipzig	Nishina
				結婚通知	
475	31	5	24	Hevesy Freiburg	Nishina
				訪日の思い出. 近況	
476	31	7	22	Pauling,L. Pasadena,Calif.	Nishina
				別刷送付. 余白に返書下書あり) (No.477)
477	31	9	1	Nishina -	Pauling
				研究の近況. 思い出. No.476	に対する返書下書 (余白)
478	31	10	2	Mulliken,R.S. Chicago	Nishina
648	19			別刷送付	
479	31	12	5	Lawrence, E.O. Berkeley	Nishina
					D論文のアブストラクトを送る. 480)同封、裏に図おり
480	32	4	20		Lawrence
				- 礼状. 詳しい論文のreprintが No.479に対する返書の下書, N	

481	32	2	14	Dennison,D.M. Ann Arbor 家族の近況. 訪英. 自分の研究	Nishina 記の状況
482	32	2	16	Nishina Tokyo Dissertation出版社問合せ	Casimir
483	32	3	15	Nishina Tokyo Casimir 論文ののったZ.Phys.	Hirschwaldsche Buchhandlungの欠本請求
484	32	3	21	Müller,E.A.W. Kattenschling ハガキ. 別刷請求	Nishina
485	32	5	18	Müller,E.A.W. Bonn a.Rh 別刷礼状	Nishina
486	32	7	7	Nishina Tokyo 別刷請求. パリの大マグネット	Cotton, A.
487	32	7	11	Nishina Tokyo 近況報告. 二児の父. 日米の村	Dennison 目互理解が大切
488	32	7	11	Nishina Tokyo 梅田魁を紹介	Heisenberg
489	32	7	11	Nishina Tokyo 計数管の件	Johnson, T.H.
490	32	7	11	Nishina Tokyo Z.f.Physの欠本請求	Hirschwaldsche Buchhandlung

491	32	9	1	Nishina Tokyo 送金通知	Hirschwaldsche Buchhandlung
492	32	11	12	Nishina Tokyo 別刷情求	Geiger,H.
493	32	11	12	Nishina Tokyo 別刷請求 (宇宙線関係)	Hoffmann, G.
494	32	12	3		Hirschwaldsche Buchhandlung
	238			Tokyo 送金通知	
495	32	12	8		Nishina
496	33	2	19	Pollard, Ermest Leeds	5. 号はつけない)あり. 封筒なし Nishina よび別紙に返書下書あり (No.499)
497	33	4	24	Princeton	Nishina
				別刷送付(プリンストン大学のNo.496と同封	の字科セグレタリ)、ハガキ、
498	33	3	1	Meitner,Lise Berlin 結果を確実にするために測定統	Nishina 売行中. 余白に返書下書あり
499	33	3	20	Nishina Tokyo 財政難招待実現不可能. (No.	Pollard,E. 496に対する返書,タイプ控)
500	33	3	23	Nishina Tokyo 中性子の研究結果教示依頼.N	Meitner Io.498余白の下書の清書

501 33 3 26 Hevesy Nishina Freiburg 元素変換者の仲間入りしたことに興味をもっている. Be. 石橋, 木村, 飯盛. ドイツの政治情勢 502 33 3 28 Kirsch Nishina Wien Beについての問合わせに対する返事 503 33 6 4 Hevesy Nishina Freiburg 近況. 長岡, Kuhn, 子供の百日咳 504 33 8 4 Hevesy Nishina Hornback 北海道での講義のこと 505 35 4 26 Langmuir,I. Nishina New York Dr.Kraus Sixtus 紹介状. ラジオ講演草稿の一部添付 506 -♪ No.505に同封の草稿(Introduction to Radio Talk) 507 35 10 7 Neher, H.V. Mishina 船上. 礼状 508 - -- 『仁科筆跡のメモ紙片 「昭和五年中手紙」 『仁科筆跡のメモ紙片 「1930年中外国よりの来信」

注: W. Heitler より Nishina 宛 1934.4.21 の手紙は, 堀内寿郎により 日本語に訳して送られたので, 和文書簡に分類した. 資料番号 805 ⇒ 銀行、書店などの事務的書簡など ⇒ 受信者はすべて仁科であるので省略する、その他の事項は下記の形にまとめる。書簡でないものも混在するが適宜メモしておく、混在している普通の書簡などは、書簡リストにのせる予定。

管理 年 月 日 発信者または事項

番号

発信地 (または所属)

-1900

注の続き

510 28 10 22 Emil Stephensens Copenhagen

宛先 c/o Madame Fontenue 95 Boulevard, St. Michel, Paris (封筒では c/o Madame Fonterme). メモ同封(No.511). 仁科在パリ

511 - - - 3 No.510に同封のメモ (Dodwell & Co 中区山下町・・・)

512 28 10 26 Hirsdhwaldsche Buchhandlung

Berlin

1.書簡宛先 c/o Mrs.Dawson,London NW.8 / 35 Boundary Road 2.Begleitrechnung 18 Okt 1928付同封 chez Madame Fonterme,Paris

513 28 10 27 The Times(London) Copenhagen Office

514 28 11 24 Yokohama Specie Bank Hamburg

515 28 11 28 Hirsdhwaldsche Buchhandlung Berlin

516 29 2 15 The Jaeger Co. Ltd London

517 29 2 25 Den Kongelige Porcelainsfabriks Udsalg. Copenhagen 518 29 3 1 Geibel & Hohl Göttingen 519 29 3 25 Yokohama Specie Bank Hamburg 520 29 5 3 Yokohama Specie Bank Hamburg 5 25 Yokohama Specie Bank 521 29 Hamburg 522 29 6 14 Yokohama Specie Bank Hamburg 523 29 8 19 Yokohama Specie Bank Hamburg 524 29 9 28 P.J.Kipp & Zonen Delft, Holland Makers of Scientific Instruments 525 29 10 15 Hirsdhwaldsche Buchhandlung Berlin 526 29 10 17 Yokohama Specie Bank Hamburg

527	29	10	24	Hirsdhwaldsche Buchhandlung Berlin
528	29	11	3	The American Institute of Electrical Engineers 東京中央局消印 (F.L.Hutchinson) 日付は消印による
529	29	11	4	Hirsdhwaldsche Buchhandlung Berlin 日付は消印による
530	29	11	23	Yokohama Specie Bank Hamburg
531	29	12	1	Deutsche Physikalische Gesellschaft Berlin
532 -1	28	12	9	Nielsen, Gerda Odense 写真を送る. 住所 Kongensgade 40, Odense.デンマーク 語 No.532-1,2/No.533/534/535は同封, 社名入り同一便箋使用
532 -2	28	12	9	Nielsen, Valborg/Nielsen, Knud Odense クリスマス・新年の挨拶. No.532-1 の裏. 余白に書込あり. デンマーフ 語 便箋にCarl Nielsen's Bogbinderi & Protokolfabrikと印刷
533	29	7	15	Nielsen, Gerda Odense 贈物に対するお礼・祝結婚・近況・デンマー7 語
534	29	7	16	Nielsen, Valborg/Nielsen, Knud Odense 子供たちへの贈物に対するお礼. 刺繍を送る / デューク in
535	29	-		Nielsen, Henriette Odense 贈物に対するお礼. 犬の話.デンマーク語

注:532-1,2/533/534/535 は普通の書簡に分類すべきもの.

536 29 12 23 Yokohama Specie Bank Hamburg 537 29 - - Deutsche Physikalische Gesellschaft Berlin Mitgliedskarte für 1929. 切手はがされ消印も不明 538 30 2 19 Deutsche Physikalische Gesellschaft Berlin Mitgliedskarte für 1930. 日付は消印による 539 30 3 20 C.H.F.Müller Hamburg カタログ送状(Spezialfabrik Röntgenröhren, Hamburg) 540 30 5 24 Yokohama Specie Bank Hamburg 8 20 Deutsche Physikalische Gesellschaft 541 30 Berlin Einladung zur Geschäftsversammlung d.D.P.G. 542. 30 9 15 The American Physical Society New York 日付は消印による 543 30 10 3 The American Physical Society New York Meeting- Nov.,Dec.,1930. 日付は消印による 544 30 11 1 The American Physical Society New York 会費 545 30 11 3 Deighton Bell & Co. Ltd Cambridge Dirac: Quantum Mechanics

7 The American Physical Society 546 30 11 Minneapolis, Minnesota R.M.P. OPay 547 30 11 8 The American Physical Society New York 案内 548 30 11 22 Yokohama Specie Bank Hamburg 549 30 11 28 Deighton Bell & Co. Ltd Cambridge Dirac: Quantum Mechanics 550 31 1 5 The American Physical Society Minneapolis, Minnesota Physical Review, R.M.P. に関して、封筒の裏表に書込みあり、 余白に問い合わせの下書あり 551 31 9 The American Physical Society 1 New York 案内,報告、日付は油印による 552 31 4 25 Deutsche Physikalische Gesellschaft Berlin Mitgliedskarte für 1931. 日付は消印による 353 31 10 15 Hirsdhwaldsche Buchhandlung Berlin 554 32 3 26 The American Association for the Advancement of Science Washington D.C.

555 32 11 5 Le Journal de Physique et le Radium

Paris

556 33 6 4 R.Schering Berelin Abteilung. Kahlbaum- Labor. - Präparate 557 33 11 10 Le Journal de Physique et le Radium Paris 558 34 1 2 Geibel & Hohl Göttingen 2 3 % Naturwiss. 1932/51の計算書の封筒 Berlin 日付は消印による 560 34 2 6 Deutsche Physikalische Gesellschaft Berlin Mitgliedskarte für 1934. 日付は消印による 561 34 4 5 Hirsdhwaldsche Buchhandlung Berlin 562 34 7 10 Deutsche Physikalische Gesellschaft Berlin 日付は消印による 563 35 11 21 Le Journal de Physique et le Radium Paris 564 36 1 16 Deutsche Physikalische Gesellschaft Berlin Mitgliedskarte für 1936. 日付は消印による 565 29 3 16 丸善 註文請状

566 29 4 6 丸善

`註文請状

567 29 4 19 丸善

到着案内

568 29 6 16 丸善

註文請状

1	1 / E	1(4)			
	年 1900			発信者 発信地 注 注	受信者
569	21	3	23	- 트리스 교통하였다. 그 전한 문화 전화 전화 전화 전환 전환 경기 있는 그렇게 보세요 (Parties and Parties and Pa	- 留学のため, 4月2日東京駅発, 同5日
570	22	11	30	神戸出帆 (北野丸) 仁科芳雄 ゲッチンゲン 下書	静間夫妻
571	22	12	2	Nishina ゲッチンゲン 書籍カタログ請求	Bowes & Bowes
572	22	12	10	仁科芳雄 ゲッチンゲン 下書	土井不曇
573	22	12	14	<u>に科芳雄</u> ゲッチンゲン 下書	石田義雄
574				Nishina - 書籍購入?,断片	a ≅ .
575	1			Nishina - ポンド・マルク交換依頼?,	- 断片
576				線形代数ノート(1-6頁). こ ノートの続きが№.17(7-30頁)	の裏にNo.570-575 (書簡下書) がある.), No.7(31頁)にある.

577	23	5	15	稲田虎彦 ロンドン 借用していた電気工学のノート	仁科芳雄
578	29	2	22	慶大医学部 故字上君遺児 * - * 教育資金募集会	仁科芳雄
579	29	3	1	昭和会 - 寄付5円の受領証	仁科芳雄
580	29	3		仁科忠之 ・岡山 11日岡山出発この休は満洲で	仁科芳雄 過ごす
581	29	3	6	精義塾 小石川局消印 評議員河村弥三郎先生逝去の	仁科芳雄 通知
582	29	3	12	中村清二 東大物理 帰朝歡迎物理懇談会招待状	仁科芳雄
583	29	3	21	斉藤利面 渋谷 帰朝祝状	仁科芳雄
584	29	3	31	大塚厳 丸ノ内ホテル 来訪御礼	仁科芳雄
585		3	14	仁科忠之 満洲 大石橋の満鉄病院に転任	仁科芳雄
586	3 29	3	} -	電気学会 - 万国工業会議入会勧誘状	仁科芳雄

587	29	- 4	4	竹内強一郎 横浜高等工業 面会申入れ	仁科芳雄
588	29	4	5	日本数学物理学会 - 規則改正通知	仁科芳雄
589 -1	29	4	6	福本喜繁 仙台 論文校正の礼状,宛先 東京で	仁科芳雄 市牛込区南榎町 2
589 -2				仁科存 仙台 福本喜繁 (六高の先輩) の紹介	仁科芳雄 ↑状. No.589-1 に同封
590	29	4	9	山口喜三郎 東京電気 物理学泰斗招聘の趣意書を会員	長岡半太郎
591	29	4	10	中塚佑一 台北帝大 結婚祝,松江から台北へ転勤抗	仁科芳雄
592	29	4	12	精義塾 小石川局消印 歓迎と送別会の通知	仁科芳雄
593	29	4	18	仁科忠之 関西学院 満洲から帰り関西学院へ転任持	仁科芳雄 実授状(ハガキ2枚, No.593-1,-2)
594	29	4	20	青山新一 東北大 内祝御礼	仁科芳雄
595	29	4	27	笠森伝繁 啓明会 ハイゼンベルク, ディラック	長岡半太郎 可氏の招聘は2500円以内とする

596	29	4	-	電気学会	仁科芳雄
				電気工学専門講習会開催通知	Section 1
597	29	-	-	仁科芳雄	長岡半太郎
598	29	5	1	ハイゼンベルク,ディラック 内容からみて発信は7月末では 物理想談会 - 5月21日よりの講演題目の照会	
599	29	5	8	山下英男 東大工 "量子論と因果律に就いて"(3	仁科芳雄 月14日の讃義) の電気学会雑誌への
600	29	5	24	寄稿依頼 村島俊雄 細沼株式会社下谷工場	仁科芳雄 しずるな、大成を期せ」に励まされて
601	29	5	-	仕事をしている 精義塾	仁科芳雄
				近況報告	
602	29	5	-	電気学会	仁科芳雄
		1.4		講演会通知	
603	29	6	3	笠森伝繁 啓明会	長岡半太郎
				ハイゼンベルク,ディラック特 2500円が条件	召聘の件,一昨日理事会にて決定,経費
604	29	ô	30	小野田常太郎 大阪 精義塾員,大阪地裁へ転勤通知	C科芳雄
				情我至只,八败地战。中国加州	ш
605	29	6	30	故星島三郎君献燈計画世話人 日本橋 募集一口2円の通知,領収.60 世話人 小幡敏男ほか4名	
				The second second second	

606 29 7 24 青山新一 仁科芳雄 東北大 啓明会への援助願に対する長岡先生の内意を聞きたい 607 29 7 31 ジャパン・ツーリスト・* 仁科芳雄 浦塩経由西比利亜線の時刻表送付 * ビューロー 608 29 7 - 精義塾 仁科芳雄 評議員萩野末吉古希祝賀会通知 609 29 8 1 精義塾 仁科芳雄 暑中見舞 2 青山新一 610 29 8 仁科芳雄 岐阜県養老郡小畑村飯田 啓明会補助に関する礼状 611 29 2 長岡半太郎 8 仁科芳雄/杉浦義勝 下浦 ハイゼンベルク、ディラックの経費は笠森氏帰京後よろしく 612 29 8 3 木村正路 仁科芳雄 京大 H.D.来朝については休暇中で教授会が開けぬので辞退 613 29 8 7 飯森里安 仁科芳雄 樂鴨 ハイゼンベルク、ディラックの経費不足額の負担 614 29 8 14 長岡半太郎 仁科芳雄 北下浦村 ハイゼンベルヒ,ディラックの招聘 (相州三浦郡北下浦村字長沢) 615 29 8 20 啓明会理事長/理研所長 仁科芳雄 案内状ハイゼンベルク、ディラック招聘、9/2 - 9/7 東大と理研で 講演会

616 29 8 20 東大文学部 長岡半太郎 教室使用許可通知. 9/2-9/10 H.D. 譜演 617 29 8 24 高嶺俊夫 仁科芳雄 軽井沢 H.D.28日到着の由, 準備多忙と推察する 618 29 8 26 興学会 仁科芳雄 原稿校正(東洋学芸雑誌) 仁科芳雄 619 29 8 26 長岡半太郎 北下浦村 9/2 開会挨拶の原稿に意見がほしい。外人二人を迎え骨が折れるが よろしく 仁科芳雄 . 6 小橋英雄 620 29 8 市川市 暑中見舞 621 29 8 28 高額俊夫 仁科芳雄 軽井沢 H.D.30日到着の由 日光行に同行してもよい 622 29 8 28 木村正路 仁科芳雄 京大 H.D., 健康を害し上京できず, 京都来遊時に会いたい 8 28 ヤサキ 仁科芳雄 623 29 甲府 -1 電報「シヨジホテルへおいでになってもよいことを認めました. 委細 電話」、裏に鉛筆で「甲府市八日町二丁目矢崎昌作」と書いてある 仁科芳雄 8 28 ヤサキ 623 29 -2 甲府 電報「電話通じませんから貴方からかけてください」 624 29 8 28 鶴見左吉雄 仁科芳雄 啓明会常務理事 ハイゼンベルク,ディラック招聘講演卸礼.9/2東京会館招待

625 29 9 2 青山新一 仁科芳雄 東北大 啓明会補助金. 吸収線の波長. H.D. 626 29 9 3 小野塚喜平次 仁科芳雄 東大総長 H.D.午餐会招待 9/7 山上会議所(土),宛先 市外中目黑833. 転送用付箋が小部分残っている(これについては仁科仲彦氏談あり) 627 29 9 4 高額俊夫 仁科芳雄 軽井沢 軽井沢一日光の鉄道不便、HDに面談することについて意見を聞きたい 628 29 9 6 高嶺俊夫 仁科芳雄 軽井沢 電報「7日3時大宮駅にて会う」 629 29 9 10 東大文学部 長岡半太郎 家屋賃貸料65円の領収書(教室使用料か?) 630 29 9 13 藤岡由夫 仁科芳雄 門司 ハイゼンベルクのトランクは給仕長が保管していた。明朝ハイゼンベ ルクを下関に迎える. 留学綴・藤岡参照 631 29 9 13 関口鯉吉 仁科芳雄 コペンハーゲン 国富君と同居. 田中館先生がおられ御指導を・・・. 発信者の名前は 推定 9 14 桑木或雄 632 29 仁科芳雄 九大工 H.のこと、 藤岡君門司出帆の筈、 理研茶話会の写真がほしい、 9 20 桑木或雄 633 29 仁科芳雄 九大工 写真受領の礼状 634 29 9 25 木村正路 仁科芳雄 京大 H.D.京都講演の礼状と写真3枚送付

635	29	9	25	部ホテル 京都 ディラックの勘定は欧式より	仁科芳雄 代式に変更
636	29	9	25	電燈50年記念会 有楽町電気倶楽部内 記念実施事業 10/21 大祝賀会	仁科芳雄 会 (杉浦講演あり)
637	29	9	26	日本橋	仁科芳雄 日16銭(宛名長岡研究室 仁科様)
638	29	9	27	精義塾 小石川区竹早町118 記念祭と総会通知	仁科芳雄
639	29	g	30	啓明会 麹町永楽町1-1東京海上ビル H.D.講演会好成績で終了御礼	仁科芳雄
640	29	9	-	精義塾 小石川区竹早町118 稲田登戸への地図. 切手はがさ	仁科芳雄 られ消印も読めず,年月推定
641	29	10	11	電燈50年記念会 有楽町電気倶楽部内 10/21 丸の内東京会館で晩餐会	仁科芳雄 ☆開催通知
642	29	10	12	都ホテル 京都 室料追加10円領収書	仁科芳雄
643	29	10	16	電燈50年記念会 有楽町電気倶楽部内 10/21 の服装	仁科芳雄
644	29	10	26	物理懇談会 (寺沢寛一) 本郷局消印 懇談会開催についての意見調~	仁科芳雄

645	29	10	28	山下英男 東大工電気 原稿と図面を貰いに行く	仁科芳雄
646	29	10	_	日本数学物理学会 - 会費払込通知	仁科芳雄
647	29	10	-	電気協会ほか5団体 - 11/4 大隈会館で園遊会	仁科芳雄
648	29	10	-	電燈50年記念会	仁科芳雄
649	29	10		事業一覧 六大学野球 電気学会 - 名簿作成のための調査	仁科芳雄
650	29	10	Ŧ	電気学会 - 10/24 講演会通知,ルイギ・コ	仁科芳雄 エマヌエリ氏招聘
651	29	10	-	電気学会 - 11/5 講演会通知 外人4人招	仁科芳雄
652	29	iı	4	藤岡由夫 グローニンゲン,オランダ エハガキ. 10/25 オランダ	仁科芳雄
653	29	11	12	養老商会 小石川区大塚坂下町155 ラケットのガット代金50銭領収	仁科芳雄
654	29	11	16	談話会 東大物理学教室 講演通知	仁科芳雄

655 29 11 16 電気学会 仁科芳雄 東京支部講演会 656 29 11 20 精義塾 仁科芳雄 11/28 塾外員会 657 29 11 20 青山新一 仁科芳雄 東北大 啓明会補助 20円許可通知あり 658 29 11 28 桑木或雄 仁科芳雄 九大工 Volta 記念祭におけるBohr講演所載の雑誌について連絡 659 29 12 20 藤岡由夫 仁科芳雄 グローニンゲン, オランダ 近況. Hund への紹介依頼. 仁科の紹介状下書あり 660 - - -Nishina Hund 藤岡紹介状下書(No.659参照) 661 29 - -仁科芳雄 長岡半太郎 H.D. 新聞発表要旨草稿1および、これについて意見を求める書簡の 下書. 新聞紙名は, 資料No.234によると, 1929.6.14.付東京日日 662 3 H.D.新聞発表要旨草稿2 No.661とほとんど同じだか小見出し付き. No.661に記した新聞は、 東大新聞研にてコピー入手(1990.10.16矢崎) 663 30 1 13 藤岡由夫 仁科芳雄 オランダ 近況報告. ハイゼンベルク, ディラック, ボーア, ヘヴェシ 664 30 1 14 木村正路 仁科芳雄 京大 上京時の御礼,特別講義,杉浦博士昨日来学講義始まる

665 30 1 20 高譜俊夫 仁科芳雄 小石川 夫人の病気見舞. ゲッツ氏夫妻との会食相談. 宛先 牛込区南榎町2 666 30 1 21 太田 董 仁科芳雄 香港 結婚祝. 学者として立つか, 実務家となるか, 前者ですね. 年は推定 667 30 1 29 共立社書店 仁科芳雄 原稿依頼 668 30 2 5 精義塾 仁科芳雄 塾外員会帰朝歓迎会, 式の書きこみあり 669 30 2 21 磯野達一郎 仁科芳雄 鶴見局消印 面会都合.4時頃御来駕ありたい 670 30 電気学会 仁科芳雄 論文別刷は印刷でき次第送付する 671 30 3 5 芝浦製作所 仁科芳雄 桜岡会開催通知. 西川正治博士講演 672 30 3 8 岡西介爾 仁科芳雄 亡妻告別式御礼 673 30 3 9 精義塾 仁科芳雄 塾外員中塚佑一氏(台北帝大助教授)留学通知 674 30 3 17 後藤風雲堂 仁科芳雄 神田 型録送付

675	30	3	23	加藤清雄 本郷区 面会申込	仁科芳雄
676	30	3	25	精義塾 - 塾外員(森谷厳)死亡通知	仁科芳雄
677	30	3	31	故守屋信一遺児 * 長崎三菱造船内 6 円寄贈御礼	仁科芳雄
678	30	4	8	*教育資金募集世話人 Matukuma-T 仙台 ビタミン A 送付御礼. 東北大	仁科芳雄 ・天文 松隈氏か?
679	30	4	23	青山新一 東北大 X線発生装置設計援助御礼	仁科芳雄
680	30	4		学士会 - 会費支払請求	仁科芳雄
681	30	3	2	経済バルブ研究室 麻布 電気用品は希望により取り寄せ	仁科芳雄 せる(フィリップス社日本総代理店).
682	30	5	12	日付は消印によるが、月は不確 岡西順次郎 漢口 近況報告・実は年不明	
683	30	6	2	高原美忠 石川県 同窓会	仁科芳雄
684	30	6	23	米野一馬 長崎県武生水町 岡山一中同窓会.次男熊本から	仁科芳雄 5川崎芝浦製作所へ実習見習

1	685	30	7	17	軽井沢	仁科芳雄
					15日ご転宅の由、ボーア教授の	つことで人手必要の時は当研究室の
	686	30	7		助子を使って飲しい。Balmer 故守屋信一遺児 * 長崎市三菱造船 寄付御礼と報告	linesの実験原稿をみてほしい. 仁科芳雄
557758	687	30	8	10	* 教育資金募集世話人	仁科芳雄
	200				宛先 芝区白金今里町150	
	688	30	8	29	旅順工大	仁科芳雄
					ボーアの寄付 70円くらいか?	
{	889	30	8	30	守屋 芳 岡山 教育資金の御礼	仁科芳雄
1	690	30	8	30	宮崎虎一 東大工 書冊送付御礼,年は不確実	仁科芳雄
8	591	30	8	30	久重一郎 呉海軍人事部	仁科芳雄
					近況報告(仁科 千葉に避暑)	. 日付は消印による
į	592	30	9	_	日本数学物理学会	仁科芳雄
					会費領収	
ŧ	593	30	10	31	高嶺俊夫 バークレー 分光学のひとびと、最新情報	仁科芳雄
8	594	30	10	<u></u>	花岡亀蔵 東京鉄道局 欧米遊学帰朝挨拶	仁科芳雄

仁科芳雄 695 30 11 5 木村正路 京大 予算の都合で4月以降の講演依頼 696 30 11 10 木村正路 仁科芳雄 京大 3月下旬に講演依頼 仁科芳雄 697 30 11 11 大戸真一 芦屋 理研発明の揮発油は理化学興業より加奈栄屋商店にて一手引受け. 宛先 東京市牛込区南榎町 仁科芳雄 698 30 11 16 藤岡由夫 ライプツィヒ 近況報告(5月にドイツに・・・) 699 30 11 25 土井不曇 仁科芳雄 本鄉駒込富士前59 学位取得祝 仁科芳雄 700 30 11 26 青山新一 東北大 学位取得祝. グリースの製法. 年は推定, 月日は消印による 701 30 11 26 高嶺俊夫 仁科芳雄 カリフォルニア 往来する外国科学者. 理研にグレーティング・ルームがほしい. Goetzの新聞切抜 702 30 11 27 岡山一中校友会 仁科芳雄 総会開催通知 仁科芳雄 703 30 12 3 小幡敏男 * 星島三郎君墓前に献燈 * 他4名 704 30 12 3 星島養兵衛 仁科芳雄 岡山 三郎墓前に献燈の御礼(三郎の兄)

705 30 12 11 日本学術協会 仁科芳雄 駒場農学部内 講演原稿受領(第6回大会講演・駒場農学部) 宛先 芝区白金今里町150 706 30 12 11 理科教育研究会 仁科芳雄 雜司谷 要旨拝受御礼 707 31 1 16 高嶺俊夫 仁科芳雄 バサディナ グレーティングの寸法をシーグバーン教授に連絡してほしい. M.Siegbahn, F.S.Brackettの手紙一部手写ししたもの同封 708 -Nishina Siegbahn Tokyo 分光器設計に関してのスケツチ入り書簡下書. No.707の裏面に書かれ ている. 欧文書簡にリストする. 709 31 1 21 内山正居 仁科芳雄 報知新聞学芸部 宇宙線の研究に関する原稿 710 31 1 26 Goetz/高嶺俊夫 仁科芳雄 Pasadena, Calif. Dr. Goetzに招待されたときの寄書. ハガキ 711 31 2 13 高嶺俊夫 仁科芳雄 Mt.Wilson Obs. ヘヴェシー夫妻2月3日当地着、来日についての配慮、日本の新科学 研究機関誕生の由 712 31 2 21 木村正路 仁科芳雄 京大 物理学教室での講義時期の照会 713 31 2 23 堀 健夫 仁科芳雄 旅順 ボーアの物理教室10年祭,記念品贈呈者に加入御礼と金額照会 714 31 3 6 浅越貫一 仁科芳雄 小石川区関口町 松尾先生謝恩会への拠金(同窓赤堀君5円とのこと). 宛先 市内芝区白金今里町150

715 31 3 9 石橋雅義 仁科芳雄 フライブルク ヘヴェシー先生夫妻の京都の宿は都ホテルがよい、日付は消印による 716 31 3 13 小野塚喜平次 仁科芳雄 東大 独国フライブルヒ大学教授ゲオルグ フォン ヘヴェシー博士来朝. 3/27 晚餐会案内 717 31 3 23 小松 隆 仁科芳雄 日本丁抹協会 通常総会,新旧公使歡送迎会案内 718 31 3 27 帝国海上火災保険 Prof.G.v. Hevesv 10,000千円の契約書 719 31 2 18 青山新一 仁科芳雄 東北大 ボーア先生物理教室10周年記念品贈呈者に加入御礼と経費照会. 日付は消印による. 月は不確実 720 31 3 - 花岡亀蔵 仁科芳雄 名古屋鉄道局 東京より名古屋鉄道局電気課へ転勤挨拶 721 31 4 6 木村正路 仁科芳雄 京大 5月上旬から3週間の講義,教授会同意,所長,長岡先生にも お願いする 722 31 4 13 日本郵船 仁科芳雄 ヘヴェシーが浅間丸で紛失した白金側腕時計は, 厳重取調べたが 手がかりはない. 不悪 723 31 4 24 高原美忠 仁科芳雄 宇治山田 白山比咩(ひめ)神社から神宮皇学館教諭に転勤通知 724 31 4 27 笠森伝繁 仁科芳雄 東京中央局消印 デラック氏等の講演要旨執筆中の由長岡博士より拝承. 差出人の署名なし(内容と筆跡から推定, No.595参照)

725 31 5 11 高嶺俊夫 仁科芳雄 ニューヨーク ヘヴェシー教授の来朝お骨折と拝察する. 内外の情報 726 31 5 13 神奈川県警 仁科芳雄 3/24付遺失物届につき調査したが拾得届はない 727 31 5 21 山下英男 仁科芳雄 東大 電気学会雑誌 9月号はファラデー記念号とするので玉稿がほしい 728 31 5 23 沢田昌雄 仁科芳雄 京都駅 お見送りできず残念 729 31 5 25 長岡半太郎 仁科芳雄/杉浦義勝 コペンハーゲン 近況報告. 遅塚はパッシェンが世話してくれる 5 27 高嶺俊夫 730 31 仁科芳雄 フローレンス 近況報告 731 32 5 28 大塚雄二 仁科芳雄 鎌倉 ヴィタミンAを送ってほしい、5円14銭(2瓶)同封 732 31 5 31 本多侃士 仁科芳雄 長野県下水内郡飯山町 万事おまかせして失礼. ご弔詞御礼 6 池田芳郎 仁科芳雄 733 32 6 北大 6月多忙ならば秋と冬に講義してほしい、日付は消印による 734 31 6 仁科芳雄 6 内田洋一 京大 上京時世話になった御礼

735 31 6 8 長岡半太郎 仁科芳雄 コペンハーゲン ボーアに2年後の来日を頼んだ、放射線記録装置、国際会議の話 736 31 6 14 高額俊夫 仁科芳雄 ユトレヒト 外人招聘にはファンドが必要、仁科研究室の誕生を祝う 737 31 6 15 電気学会 仁科芳雄 譜師謝礼 30円 (東京支部長横山英太郎) 738 31 6 17 電気学会 仁科芳雄 原稿料 160 円 (会長高津 清) 739 31 6 30 中谷宇吉郎 北大 講義の時期, 期間. ハイゼンベルクの本で講義してほしい 740 31 7 2 高嶺俊夫/藤岡由夫 仁科芳雄 ライブツィヒ消印 近況報告.長岡,藤岡,高嶺会合す 741 31 7 14 交詢社 仁科芳雄 銀座 金曜午餐会案内状と招待者名簿(理研所長と主任) 742 31 7 16 中谷宇吉郎 仁科芳雄 北大 講義日程. 同伴で来札を待つ 743 31 7 22 堀 健夫 仁科芳雄 旅順 学長更迭以来理科圧迫の気運濃厚, 内地転勤希望 744 31 7 24 高額俊夫 仁科芳雄 ユトレヒト 研究室ができても研究の便宜にならぬようでは心配だ

745 31 7 31 電気学会 仁科芳雄 "電気に関する物理学最近の諸相"贈呈 746 31 8 2 長岡半太郎 仁科芳雄 パリ エハガキ. 欧米の状況. No.740 藤岡・高嶺参照 747 31 8 11 中谷宇吉郎 仁科芳雄 北大 大学より理研所長に仁科の講義許可願を手配する. お宿 748 31 8 12 高嶺俊夫 仁科芳雄 デンマーク 6年ぶりにボーアを訪ねクラインにも会った.「Esbjergに出るferry boat上にて」とあり、消印は NYBORG 749 31 8 17 西田外彦 仁科芳雄 北鎌倉円覚寺 暑中見舞 750 31 土屋壮夫 仁科芳雄 四谷区仲町 暑中見舞 751 31 9 5 長岡半太郎 仁科芳雄 パリ 世界不景気で地球表面が動揺しているようだ, フランスは別 752 31 9 18 浅田常三郎 仁科芳雄 大阪塩見理研 ディラック、ハイゼンベルク講義の印刷物ほしい 753 31 9 18 京大理学部 仁科芳雄

教授,助教授,講師の名簿(H,Dの別刷配布)

755 31 9 25 荒勝文策 仁科芳雄 -台北大 教授, 助教授, 講師の名簿 (H,Dの別刷配布) 756 31 9 25 高嶺俊夫 仁科芳雄 ユトレヒト 日支関係のためシベリアをさけて10月末帰朝予定 757 31 9 25 真島利行 仁科芳雄 札幌 講義の御礼を直接できず失礼 758 31 9 26 西 久光 仁科芳雄 九大 教授,助教授,講師の名簿(H,Dの別刷配布) 759 31 9 28 藤岡由夫/Gurney, R. 仁科芳雄 ロンドン エハガキ 760 31 9 28 高橋 胖 仁科芳雄 仙台 物理学教室職員名簿(H,Dの別刷), 老人より若い人に配ると有効 761 31 9 21 堀 健夫 仁科芳雄 旅順工大 出バンドスペクトルの写真成功,物理学科職員3名, 日付は消印による 762 31 9 16 高嶺俊夫/藤岡由夫 仁科芳雄 ユトレヒト 近況報告、日付は消印による 763 31 10 6 茅 誠司 仁科芳雄 北大 量子論講義御礼. 北大物理教室を活気づけてくれた. 764 31 10 12 長岡半太郎 仁科芳雄/杉浦義勝 船上 ("Europa") ボーア教授は1933年春来日との予告

765 31 10 19 木村正路 仁科芳雄 京大 教室職員の名簿(H,Dの別刷配布) 766 31 10 19 池田芳郎 仁科芳雄 札幌 長岡先生が帰国されたら北大教授候補者選定を願うため上京する 仁科芳雄,杉浦義勝 767 31 10 20 長岡半太郎 ボストン エデスン、ストラットンの死をいたむ 768 31 10 24 三村剛昂 仁科芳雄 広島文理大 理研に内地留学できるとよい 769 31 10 27 小幡重一 仁科芳雄 航研 量子論講演集 図書室へ寄贈願 770 31 10 27 片山正夫 仁科芳雄 小石川局消印 量子論講演集寄贈願 771 31 10 27 青山新一 仁科芳雄 東北大 理研講演会に参加 772 31 10 27 小野湾之助 仁科芳雄 東京文理大 量子論請演集(H,D) 教職員名簿 773 31 10 28 岡 小天 仁科芳雄。 東大物理 H,Dの別刷配布名簿(帝大理,工学部) 774 31 10 31 高嶺俊夫 仁科芳雄 S.S.Montrose + カナダを通り12月上旬帰朝。消印は Southampton

東北大 東北大職員名簿(日付は内容で推定) 776 31 11 9 中沢房吉 仁科芳雄 東北大医学部 上京時の御礼と今後の教示依頼 777 31 11 15 渋沢敬三 仁科芳雄 栄一葬儀会葬御礼 778 31 11 19 高橋 胖 仁科芳雄 東北大 H,Dの講演記録を利用しうるひとびと 779 31 7 - 青山新一 仁科芳雄 東北大 ボーア先生の礼状返送. 消印は年は読めるが, 月は不確実 注. Bohrの礼状の日付は May 22,1931 780 32 2 16 玉城嘉十郎 仁科芳雄 京大 朝永君の理研就職について、坂田君の希望もきいてみる 781 32 2 18 朝永振一郎 仁科芳雄 京大 物理教室の正式許可が得られたので3月下旬上京する. ご指導よろしく, 宛先 東京市芝区白金今里町150 782 32 4 18 池田芳郎 仁科芳雄 北大 夏と秋に量子論の講義をお願いしたい 783 32 4 30 大賀惠二 仁科芳雄 北大 入院お見舞もせず失礼、量子論諸問題を読み始めている 仁科芳雄 784 32 5 30 別宮貞俊 住友軍線 印度の本を送る

仁科芳雄

775 31 10 - 青山新一

785 32 6 27 沢田昌雄 仁科芳雄 京大 上京したが北大講義でご不在残念. 近況報告 786 32 7 8 堀 健夫 仁科芳雄 旅順 受賞推薦御礼. 義弟(朝永振一郎)の指導よろしく 787 32 7 11 仁科 存 仁科芳雄 仙台 論文説明. 宛先 東京市芝区白金今里町150番地 - 788 32 7 14 青山新一 仁科芳雄 東北大 研究現況 789 32 7 14 故宮崎虎一工博 * 仁科芳雄 東大工冶金 発起人として協力依頼 * 弔慰金募集委員 桂 弁三 790 32 7 17 玉城嘉十郎 仁科芳雄 京都 朝永振一郎君についての御礼、助手として指導方依頼 791 32 7 21 仁科 存 仁科芳雄 仙台 論文説明 792 32 7 27 大野省三 仁科芳雄 コペンハーゲン ボーア教授に所用あり当地へ来た.9月中旬帰朝予定 793 32 9 20 岡部豊比古 仁科芳雄 福岡 夏期実習御礼 794 32 9 27 寺田寅彦 仁科芳雄 本郷区駒込曙町24-7 服部報公会の受賞を堀、杉浦両氏に伝えてほしい、宛名は仁科様だけ で住所は書いてない

仙台 岡島長年はドイツ2年留学から帰朝、大兄か杉浦氏のところで研究を 希望している 仁科芳雄 796 32 10 5 服部報公会 堀氏は受賞式に出席されるので代理人の必要はなくなった 仁科芳雄 797 32 10 9 青山新一 東北大 理研学術譜演会に 2論文発表したい. 近況報告 798 32 10 12 黒川兼三郎 仁科芳雄 早大 電気学会の電子構造方面への協力依頼. 宛先 芝区白金今里町150 仁科芳雄 799 33 2 25 木村健二郎 横浜市鶴見区月見ヶ丘 化学薬品の見積と注文について 3 26 坂田昌一 仁科芳雄 800 33 御影 履歴書同封よろしく, 宛先 東京市芝区白金今里町150 801 34 3 28 寺町忠行 科学知識普及会 愛知県知事官房統計調査課 仁科先生の宇宙線の詳報がほしい. 該当する「科学知識」別刷の末尾 の日付(9.3.4)また,印刷の日付昭和9年4月より年は1934年とした 7 東京振替貯金課 仁科芳雄 802 33 受払通知 4 18 宗 正路 仁科芳雄 803 33 東京電気 現在最大のものは SN167.7mで 3KW?, 14mで10KW, 25mで25KW. サイクロトロン・モデル 804 33 4 20 宗 正路 仁科芳雄 東京雷気 サイクロトロン計画, 西川博士からも同様の照会あり

仁科芳雄

795 32 10 3 本多光太郎

305 33 4 21 堀内寿郎 仁科芳雄 ゲッチンゲン ハイトラー氏の手紙の翻訳を送る. 日付は消印. 欧文書簡リストに記入のこと 806 33 4 26 正木 修 仁科芳雄 広島文理大 広島で第 9回日本学術協会大会開催, 出席依頼 807 33 5 4 八木秀次 仁科芳雄 阪大 坂田氏阪大に来ること承知. 今後核物理の方面に進むと良い. 菊池君 にも相談してほしい 808 33 5 12 K.Umeda 仁科芳雄 ライプツィヒ 近況報告. 朝永君によろしく 809 33 5 23 帝大新聞社編集部 仁科芳雄 自然科学の頁ができたので宇宙線についての寄稿依頼 810 33 5 27 八木秀次 仁科芳雄 阪大 学術振興会申請書に中山氏の分も送付した 811 33 6 1 八木秀次 仁科芳雄 阪大 手紙と申請書受領.5日の会に持参する 812 33 6 3 津村秀剛 仁科芳雄 東京朝日新聞 菊池正士氏の"量子力学"の批評と紹介を執筆してほしい。 宛先 小石川区籠町 813 33 6 5 一色貞三 仁科芳雄 芝浦製作所 Metropolitan Vickersの文献で調べる 814 33 6 8 新城新蔵 仁科芳雄 麹町局消印 委員長会議の結果報告

815	33	6	g	池田芳郎 北大	仁科芳姓	
				16日到着侍つ.17日からの時間 による	間表を作る。大賀君宅が宿、日付は消印	ī
816	33	, g	20	木村健二郎 横浜市鶴見区月見ヶ丘	仁科芳雄	
				舅死去, 弔電御礼		
817	33	7	17	一色貞三 芝浦製作所	仁科芳雄	
				impulse generator の立案. 4	00万ポルト,営業で見積中	
818	33	7	18	片山正夫 帝大化学教室	仁科芳雄	
				天木敏夫君についての伺		
819	33	7	21	河田末吉 京大物理教室	仁科芳雄	
				暑中見舞. 学振援助申請時の	卸礼	
820	33	7	22	山田光雄 東北大	仁科芳雄	
				上京見学時の御礼		
821	33	7	22	Laporte/杉浦/藤岡 箱根	仁科芳雄	
					みにくいが,本文の日付の書かれる所に 「月22日の土曜日と合うので22日とする	
822	33	7	29	岩波書店「科学」編集部	仁科芳雄	
				学界展望 "陽電子の発見"(「 宛先 芝区白金今里町150	二科原稿)(村越 司).	
823	33	9	3		仁科芳雄	
					会えず残念、嵯峨根さんが案内して	
824		9	16	茅 誠司 北大	仁科芳雄	
	6			学期末は12/20 だが都合のよい	いとき来札されたい	

825 33 9 26 茅 誠司 仁科芳雄 北大 石本さんが講義に来ている。ご尽力のお蔭と感謝している 826 33 9 26 中谷宇吉郎 仁科芳雄 北大 近況報告. 11月講演会申込用紙の送付依頼 827 33 9 30 岩波書店網集部 仁科芳雄 "負電子に関する問題"原稿(村越 司) 828 33 9 30 荒勝文策 仁科芳維 台北 委員会で私の願を認めてくれた。 御礼 829 33 10 仁科芳雄 3 一色貞三 芝浦製作所 小容量衝撃発生装置およびコックロフト高圧発生装置の見積等につい ての連絡 830 33 10 5 青山新一 仁科芳雄 東北大 Hの研究報告. 11月の講演希望日 831 33 10 10 大賀悳二 仁科芳雄 大連 来訪御礼 832 33 10 11 仁科 存 仁科芳雄 仙台 伯父上様永眠寂しくなる. 身内の近況報告 833 33 10 12 村川 梨 仁科芳雄 航研 Krの論文との比較. 航研での仕事 834 33 10 13 アワカツ 仁科芳雄 台北 電報「有難うございました」、発信人は「荒勝」の誤りか?

835 33 10 31 共立社書店 仁科芳雄 物理講座の稿料お届け 836 33 11 19 長岡半太郎 仁科芳雄 阪大 ケネリー氏夫妻と阪大に泊まっている. 京大からの申込が多い 837 33 11 20 津村光俊/有馬忠三郎 仁科芳雄 丸ノ内 特許法律事務所開設挨拶 838 33 11 27 池田芳郎 仁科芳雄 北大 12月の讃義のときは拙宅にとまられたい 839 33 11 27 木村正路 仁科芳雄 京大 原稿は外人に校閲を頼んでいる。12月中旬学術研究会議に送る 仁科芳雄 840 33 11 - 岡部豊比古 東京電気 九大から東京電気に転勤挨拶 841 33 12 4 大賀惠二 仁科芳雄 北大 来札時の宿泊、今度は池田君宅に決まった 仁科芳雄 842 33 12 4 木村正路 京大 学術研究会議に原稿送付 4 カラス会 仁科芳雄 843 33 12 京橋局消印 12/9 新橋太田屋牛肉店にて開催の通知 (岡山中学校の一部クラス会) 仁科芳雄 5 池田芳郎 844 33 12 北大

今年は拙字へ泊ってほしい

845 33 12 25 嗟峨根遼吉 仁科芳雄 松前丸 24日出発、実験の話は竹内、新間、皆川の諸君でお分かりになると 思う 846 34 1 17 福本松男 仁科芳雄 渋谷区幡谷 宇宙線の話(ラジオ講演),面談申込 847 34 1 18 学術研究会議 仁科芳雄 仁科,朝永共著論文の初校 23日に送る 848 34 2 1 古市六三 仁科芳雄 赤坂局消印 父公威葬儀, 焼香御礼 849 34 2 7 一森利孝 仁科芳雄 三井物産名古屋支店 無塩醤油輸送御礼 850 34 2 8 平田秀樹 仁科芳雄 京大 上京見学の御礼 851 34 2 8 大塚雄二 仁科芳雄 川崎 (東京電気) 照会に対する返事(ドイツのSteatit-magnesia,A.G.). 同様のものは 当社でも製造しているが如何 852 34 2 8 9 仁科芳雄 ハコザキエキ 電報「ハンダイタシカナラソノホウヲノゾム」 853 34 2 10 一森利孝 仁科芳雄 三井物産名古屋支店 無塩醤油到着御礼 854 34 2 12 山本英雄 嵯峨根遠吉 旭ガラス試験所 Steatit のことは当方では分らない

855 34 2 20 一森利幸 仁科芳雄 名古屋 無塩醤油、12.75郵送した、宛先 東京本郷区駒込曙町19 856 34 2 27 真島正市 仁科芳雄 東大工 谷村先生からの伝言、研究の功利的方面余り宣伝するな、電源の capacity は厳秘に願いたい 857 34 3 2 東盛 仁科芳雄 古河電気工業 特別の電線のことで伺いたい 858 35 3 9 菊池正士 仁科芳雄 阪大 報公会のこと通知に感謝する. 年会での議論を楽しみにしている. 消印も年は不明瞭だが一応10と読んだ、「報公会」から分かるかも 859 34 3 13 東盛真一 仁科芳雄 古河電気工業 ご依頼の件は調査中である 3 16 国際出版印刷社 仁科芳雄 860 34 印刷代 代金請求 論文別刷 200部 12円 861 34 4 - 松田 栄 仁科芳雄 台湾 東京文理大を卒業し台南師範に奉職、日付、清印なし、文中の"3月も すぎ新緑の候・・・"より4月発信とした、数物名簿→昭和9年卒業 862 34 4 寺町忠行 仁科芳雄 愛知県知事官房統計調査課 宇宙線についての私見と別刷請求 863 34 4 5 池田芳郎 仁科芳雄 北大 上京したが風邪で訪問できず失礼した 864 34 4 8 岡崎義男 仁科芳雄 広島文理大 Diracの和訳を手伝って勉強したい

865 34 4 9 青山新一 仁科芳雄 東北大 理研講演会申込 866 34 仁科芳雄 4 10 中山若枝 京大 小林 稔副手は坂田君の話で貴方の助手となることを希望している のでよろしく 4 10 林 威 仁科芳雄 867 34 東北大 西川先生を訪ねたとき疑問を解いて頂いた御礼 868 34 4 15 松倉恒夫 仁科芳雄 兩館 北大から函館中学へ就職通知 869 34 4 17 大賀悳二 仁科芳雄 台北 台湾に来た、一緒に札幌へ行けるとよい 870 34 4 21 土井不曇 仁科芳雄 板橋区練馬南町 翻訳に梅田,鈴木,今里が協力していたが,3人とも別れたので 困っている 871 34 4 21 小林 稔 仁科芳雄 大阪 仁科研で勉強できることはうれしい. 宿は朝永さんの下宿とする 872 34 4 23 東盛真一 仁科芳雄 古河電気工業 講演題目-任したし、聴講者 873 34 4 25 仁科 存 仁科芳雄 東北大金材研 コイルについての情報. 封筒裏の日付は3.25, 消印は4.25 874 34 4 - 秀英舎 仁科芳雄 牛込区市ヶ谷加賀町1-12 印刷物明細書 "宇宙線"

875 34 5 4 東盛真一 仁科芳雄 横浜(電線) 譜演街礼 876 34 5 14 故中村儀三郎殿 * 仁科芳雄 北大 10円拠出 受領証 * 遺児養育資金実行委員会計係 仁科芳維 877 34 5 15 茅 誠司 北大 中谷君22日上京するので托した、6月来札を楽しみにしている 仁科芳雄 878 34 5 20 大賀惠二 扎幌 台湾からの帰り会えず失礼、来札したら小生宅に泊まられたし 879 34 5 21 東盛真一 仁科芳雄 横浜(古河電線) 譜滴御礼。 880 34 6 4 小松 隆 仁科芳雄 日丁協会 丁抹に関する資料送付状 881 34 6 7 池田芳郎 仁科芳雄 北大 家族同伴なら小生宅へ、一人なら大賀さんの方へ泊ってほしい 882 34 6 9 杉田元官 仁科芳雄 電気試験所 Stark effect についての私見 883 34 6 13 坂口健太郎 仁科芳雄 東京文理大 東京文理大卒, 同大奉職通知 884 34 7 10 豊田博司 仁科芳雄 茨城県助川 日立へこられること拝承, 旅館のこと

885 34 7 11 豊田博司 仁科芳维 茨城県 助川 200万ボルト試験器の担当者の都合で来週来てほしい 886 34 7 18 専田博司 仁科芳雄 茨城県 助川 21日の宿はとった。雨が降ると屋外用のため実験困難かもしれない 887 34 7 24 中泉正徳 仁科芳雄 東大医 講演御礼、キューリー夫人追悼会も盛大にできる、別紙案内状の通り、 ご来駕を待つ、 388 34 7 30 木村健二郎 仁科芳雄 平塚市 ボーア先生の長男溺死の通知 889 34 8 3 豊田博司 仁科芳雄 茨城県 助川 宇宙線の文献受領御礼、仕様書をみて考える 890 34 8 3 早川良雄 仁科芳雄 愛知 暑中見舞 891 34 8 6 朝永振一郎 仁科芳雄 東山荘 (裏箱根) 暑中見舞. 東, 久野氏につかまっている 892 34 8 10 倉木二三子 仁科芳维 小倉高女 暑中見舞. 実は年不明 893 34 8 13 高嶺俊夫 仁科芳雄 軽井沢 5月手術、ボーア先生の弔慰品、別によい考も浮かばない、妻とも 相談する. ご家族ご病気とか仄聞している 894 34 8 26 東 健一 仁科芳雄 本郷区森川町 残暑見舞. 移転通知

895 34 8 28 大寶惠二 札提 来札したら当宅へ泊ってほしい 仁科芳雄 896 34 9 17 藻原建一 カリフォルニア エハガキ. University of California より 仁科芳雄 897 34 10 5 台北事務所 台北 重報「コウエンゴセウタクヲシヤスジカンヤクージカンノヨテイ」 仁科芳雄 9 28 台北事務所 898 台北 電報「ニツボンガクジツケウカイシツセキゴコウエンノギ ゴツゴウイカガヤヘンコウ」 仁科研究室 899 34 10 6 住友電線製造所 大阪 風水害で一時閉所したが復旧し製作開始(Na.900と同封) 900 34 10 8 住友電線製造所 仁科研究室 大阪 工場復旧現況 (No.899と同封) 仁科芳雄 901 34 10 - 荒勝文策 台北大 近況報知. 今冬の学術協会(当地)に出かけてほしい. 日付は推定 仁科芳雄 902 34 10 15 荒勝文策 台北 学術協会(台湾)で講演承認御礼 仁科芳雄 903 34 10 11 電気学会 ランクミュア博士歓迎委員の委嘱状, No.904と同封 (ゼネラル・エレクトリック社副社長) 仁科芳雄 904 34 10 20 電気学会

11/15 東京会館で歓迎会. 出席依頼. No.903と同封

905 34 10 27 玉城嘉十郎

仁科芳雄

京大

論文別制受領. 朝永君の仕事ができ上っていくことを喜んでいる

906 34 10 31 渋沢元治

仁科芳雄

小石川区原町72

11/16 王子飛鳥山暖依村荘 (旧渋沢邸) ラングミューア博士懇親会

参加依頼状 No.907-912がまとめてある

907 34 10 - * ラングミューア博士歓迎委員会議事録(34.10.10の委員会)

908 34 10 - 3 ラングミューア博士関係日程案 11/2 - 11/29

909 34 10 - ③ ラングミューア博士歓迎晩餐会案内 11/5 電気学会主催 特別講演会案内 11/7, 11/9 電気学会主催

910 34 11 - 3 ラングミューア博士特別講演会案内 11/29 電気学会主催

911 34 10 - 3 ラングミューア博士理研見学先一覧 月日不明だが、No.906-No.910に準じ一応10月としておく

912 34 11 29 電気学会

仁科芳雄

ラングミューア博士 12/1 東京発退京通知

913 34 11 3 久保昌二/東 健一/* 仁科芳雄 車中 東山荘へ赴く汽車中の寄せ書 *久野桂一郎/岡本英男/岩崎友吉/

914 34 11 6 山口喜三郎 仁科芳雄 東京電気社長 ラングミューア博士歓談 11/10 出席依頼

915 34 4 11 東盛真一 仁科芳雄 古河電工 調査結果と講演依頼、日付は消印による 916 34 11 13 日本放送協会 仁科芳雄 原稿返却, 御礼 917 34 11 19 日本学術協会出張所. 仁科芳维 台北 電報「キカノツウゾクコウエン」タイナンシニテネガヒタシ ヨロシクタノム」 918 34 11 22 小野塚喜平次 仁科芳雄 東大総長 アイ・ラングミューア氏来朝で粗餐差上度 11/28 案内状 919 34 11 28 荒勝 仁科芳雄 台北 電報「ケンガクハベンギヲハカル」コラレタウエケンガクブニテ サウダンニノル」ヤドハタイホクニトルエ 920 34 12 2 カラス会 仁科芳雄 カラス会御案内 0 921 34 12 3 西川正治 仁科芳雄 ローマ 中性子実験について 922 34 12 4 桑木或雄 仁科芳雄 福岡 台湾へ行くとき立ち寄ってほしい 923 34 12 4 坂元 孝 仁科芳雄 岐阜県女子師範学校 キューリー夫人の逝去の日の照会(ラジオ放送をきいて) 924 34 12 7 電気学会 に科芳雄 有渠町電気協会会館 ラングミューア博士講演邦訳承諾卸礼

925 34 12 13 電気学会 仁科芳雄 ラングミューア博士退去通知 926 34 12 15 桑木或雄 仁科芳雄 九大工 ボーア教授来朝のための資金をゼーマン教授の記念金に廻して下さる こと好都合、よろしく 927 34 12 19 桑島五郎 仁科芳雄 山形県長井 ラングミューア博士の講演科学知識12月号でみた 928 34 12 19 光永悦— 仁科芳雄 足尾鉱山 願い出の件ご高配御礼 929 34 12 24 西 久光 仁科芳雄 九大 ボーア先生の記念品料 (2円) 受領 930 -電気学会 仁科芳雄 封筒のみ 931 34 4 23 科学知識普及会 仁科芳雄 封筒のみ 932 35 1 1 宮崎治助 仁科芳雄 大倉電気研究所 年賀状 933 35 1 1 路海ホテル 仁科芳雄 台湾 高尾 年賀状

仁科芳雄

長岡先生宛論文を送った、和蘭へ送るか、だめなら数物へ出したい

934 35 1 18 西 久光

九大物理教室

935	35	1	24	瀬尾武次郎 神戸高等工業 Langmuir博士の居在照会	仁科芳维
936	36	1	29	阪大	に科芳雄 による. 年の部分不鮮明, 要内容検討
937	35	2	2	中泉正徳 東大医放射線科教室 宇宙線および人工放射能に関す	仁科芳雄 - る別刷拝受
938	35	2	2	瀬藤象二 本郷局消印 "人工放射能", "宇宙線の本質	
939	35	2	2	"水面上の油の薄膜", "Langmu 柴田桂太 東大理 ラングミューア博士の記事ご恵	仁科芳雄
940	35	2	2	荒勝文策 台北 来台御礼,研究報告,菊池君の	仁科芳雄 D研究室もみたい
941	35	2	2	中村清二 駒込局消印 別刷拝受	仁科芳雄
942	35	2	3	谷村豊太郎 荏原郡玉川村奥沢 別刷拝受	仁科芳雄
943	35	2	4	八木秀次 阪大理物理 別刷拝受	仁科芳雄
944	35	2	4	萩原雄祐 赤坂区水川町 別刷拝受	仁科芳雄

945	35	2	4	山口喜三郎 品川区南品川 別刷拝受	仁科芳雄
946	35	2	4	一色貞三 芝浦製作所 別刷拝受	仁科芳雄
947	35	2	5	桑木或雄 福岡 別刷拝受. ラングミュア博士。	に科芳雄 と当地で歓談した
948	35	2	.8	西田外彦 芦屋 論文ご批判を乞う	仁科芳雄
949	35	2	9	浅田常三郎 阪大理物理 ラジオの講演拝聴. 別刷もう-	仁科芳雄 一部ほしい
950	35	2	20	宗 正路 川崎 お申付のガラス管は製造可能	仁科芳雄
951	35	2	21	宗 正路 川崎 論文別刷 1-2 部送ってほしい	仁科芳雄
952	35	2	27	古市龍雄 海軍艦政本部 宇宙線,ラングミュア博士関係	仁科芳雄 系の冊子拝受
953	35	3	12	東大(工)電気工学教室 - 第二回東大電気工学科同窓港	に科芳雄 親会 幹事・日立製作所東大電卒一同
954	36	- 3	18	電気学会 - 界面化学 (ラングミュア講演	仁科芳雄 予稿)寄稿受領

955 35 4 1 中塚佑一 仁科芳雄 学士会館 上京したが会えずに帰る(台湾) 956 35 4 5 浅野先生喜寿祝賀会 仁科芳雄 写真1葉受取 957 35 4 7 石井千尋/山崎文男/浅野芳広/ 仁科芳雄 三島 荷物の無事を確認した 仁科芳雄 958 35 4 15 丸善 案内票 (外国図書) 仁科芳雄 4 18 豊田博司 959 35 日立 24日か25日に講演類いたい 仁科芳雄 4 23 兽田博司 360 35 日立 25日お待ちしています 961 35 4 7 石井/山崎/浅野/ 仁科芳雄 箱根 7日箱根山頂到着,機器は無事,8日には測定に着手できる 仁科芳雄 962 35 5 6 山田正男 東京朝日新聞社 原稿没を陳謝 Dirac 963 35 6 15 光石知国 佐賀高校 ディラック博士への手紙. 別便の依頼状がある 仁科芳雄 964 35 6 26 光石知国 佐賀高校 ディラック博士への手紙の回送をお願いする(ハガキ)

9,65	35	7	29	河田末吉京都	仁科芳雄
				暑中見舞	
966	35	8	1	斉藤至弘 小石川区駕籠町	仁科芳雄
				暑中見舞(斉藤歯科医院)	1 E
967	35	8	1	井上匡四郎 芝区高輪南町 宇宙線外3件寄贈御礼	仁科芳雄
968	35	8	1	松田 栄 台南師範 暑中見舞	仁科芳雄
969	35	8	4	保田 栄 滝野川区西ヶ原町 暑中見舞	仁科芳雄
970	35	8	5	和島藤助 日立製作所 暑中見舞.実は年不明(消印)	仁科芳雄 も年がかけている)
971	35	8	6	日本童話協会 小石川局消印	仁科芳雄
				アンダアセン童話百周年記念	8月13日 出席依頼
972	35	8	7	永倉俊充 札幌 暑中見舞. 緊張した理研の空気	仁科芳雄 気に接し尊いものを得た.
973	35	8	28	長岡半太郎 龍田丸 見送り御礼,船上生活連絡	仁科芳雄/杉浦義勝/
974	35	9	22	長岡半太郎 パリ 19日パリ着. 会は10/12まで開	仁科芳雄

975	35	9	28	長岡半太郎 パリ 近況連絡、11/14帰京予定	西川正治/仁科芳雄/
976	35	10	4	福見尚文 東京天文台 26日(土)の講演時間,場所連約	仁科芳雄
977	35	10	7	三枝喜雄 東北大理 論文東贈御礼。"Creation of	仁科芳雄 Positive and Negative Electrons by
978	35	10	8	Heavy Charged Particles" 玉城嘉十郎 京大 別刷受領御礼	仁科芳雄/朝永振一郎/小林 稔/
979	35	10	8	落合麒一郎 東大物理 別刷受領御礼	仁科芳雄
980	35	10	9	中山若枝 京大 別刷受領御礼.	仁科芳雄
981	35	10	9	桑木或雄 九大工学部 別刷受領御礼	仁科芳雄
982	35	10	10	福見尚文 市外三鷹村 26日の講演時間は15分位は伸続	仁科芳雄 宿自由
983	35	10	13	長岡半太郎 フランス 欧州状況. 16日出発	仁科芳雄
984	35		18	深海研究所 赤坂区溜池三会堂 昨日会えず残念	仁科芳雄

985	35	10	22	物理学教室 九大工 Pieter Zeeman寄贈御礼	仁科芳雄
986	35	10	25	時田 明経済クラブ萬農家小沢治太郎氏紹介.実施	仁科芳雄 は年不明
987	35	10	_	高島/高野/郷/ 昭和電機 転勤挨拶	仁科芳雄
988	35	10	-	昭和電機 - 営業品目	仁科芳雄
989	35	11	18	森 信胤 帝国女子医薬専 見学申込	仁科芳雄
990	35	11	28	近藤石象 福岡 阿里山高山観測所より中央気象	仁科芳雄 8台福岡支台へ転勤挨拶
991	35	11	-	千光商会電池部 芝 電池部設置挨拶	仁科芳雄
992	36	1	9	日本技術協会 神田錦町 「宇宙線の話」 別刷送付	仁科芳雄
993	36	1	27	宮沢明義 大阪毎日新聞 玉稿2,3 日中に紙上に出る	仁科芳雄
994	36	1	29	箕原 勉 中野 "最近に於ける物理学の発展"	仁科芳雄 寄贈御礼

	995	36	1	31	一色貞三 芝浦製作所 "最近に於ける物理学の発展"	仁科芳雄
	396	36	1	31	波多野貞夫 学振	仁科芳姓
					"最近に於ける物理学の発展"	寄贈饵礼
	997	36	1	31	平岡 磁 荏原区戸越町	仁科芳雄
	w				"最近に於ける物理学の発展"	寄贈御礼
	998	36	2	1	横山英太郎 日本無線電信株式会社	仁科芳雄
					"最近に於ける物理学の発展"	寄贈御礼
	999	36	2	1	西 健 小石川区	仁科芳雄
				18	"最近に於ける物理学の発展"	寄贈御礼
105/19/20	1000	36	2	2	小石川区駕籠町	仁科芳雄
					"最近に於ける物理学の発展"	a solar ma
	1001	36	2	3	谷村豊太郎 海軍艦政本部第一部長	仁科芳雄
					"最近に於ける物理学の発展"	
	1002	36	2	4	別宮貞俊 西宮局消印	仁科芳雄
					"最近に於ける物理学の発展"	0 8
	1003	36	2	. б	横山英太郎 日本無線会社 講演パンフレット5 部寄贈御	仁科芳雄 L
	1004	36	2	12	山司房太郎	仁科芳雄
		*			造兵部二次電池工場 宇宙線の話その他受領御礼. ↑	かれ君に資料借り たい

1005	36	3	7	西川和男 横浜 種々のご教示御礼	仁科芳雄
1006	36	3	13	森 信胤 帝国女子医専 近況報告	仁科芳姓
1007	36	3	16	山司房太郎 造兵部二次電池工場 3/17ご来場の由ですが長官の根	仁科芳雄 食閥あり, 別の日に来てほし!
1008	36	3	18	山司 田浦 電報「アスツゴウワルシ20ヒュ	仁科芳雄
1009	36	3	29	大本寅治郎 タイガー計算器(株) 社屋,工場新築招待状	仁科芳雄
1010	36	4	1	ササキ 京都下賀茂 電報「ニヒゴニシコウザノコト	仁科芳雄
1011	36	4	6	石井 札幌 電報「ウチアワセヲナシヤコウ	仁科芳雄 7ニテシヤリニムカフ」
1012	36	4	24	ナカツカ 台北 電報「カワリナシタシヤ」	仁科芳雄
1013	36	7	11	光石知国 佐賀 返書とDirac 教授の写真受領の	仁科芳雄)御礼
1014	36	12	17	落合麒一郎 熱田局消印 出発見送御礼	仁科芳雄

- 🐃 岩城氏の整理された和文書簡ファイルに混在する案内、領収書など 🔅
- 1015 大正十年当用日記のゼロックスコピー
- 1016 スカンジナビア見学記 Hotel Norge, Bergenの便箋使用. 最初に10月8日(月)と日付を記入
- 1017 H.D.日光・箱根行,計画と請求・領収書 付. 船,シベリヤ鉄道旅程表. 注 H.D.= Heisenberg and Dirac
- 1018 マルメ自動車領収書 目白駅前 (奥田宛1929.9.30.)
- 1019 Hevesy来朝関係書類一式 (1931.3)
- 1020 H.D. 講演集希望者リスト,石田研,木下研,工大,寺田研
- 1021 帝大新聞切り抜き 「Surface Chemistry」, (34.12.3)
- 1022-1 ラングミューア英文原稿,放送挨拶原稿 表題 Oil Films on Water
- 1022-2 ラングミューア割訳草稿「水面上の油の薄膜」 No.1022-1に対応
- 1023 ラングミューア割訳原稿「水面上の油の薄膜」(科学知識) 長島(科学知識普及会)1934.12.7.付の封筒に収納,No.1022-1,2を同封
- 1024 「P.A.M.Dirac」 紹介文草稿 付. 岩城による清書
- 1025 第19回理科教育公開譜演会チラシ 1920年9月 石原 純:相対性原理並に万有引力論(裏面 理科教育研究会々則)
- 1026 「改造」1921年11月号の相対論解説の部分抜き取り 石原 純:アインスタインの宇宙論と思惟の究極, 2-16頁

1027 「改造」1921年12月号の相対論解説の部分抜き取り 石原 純:時間及び空間の相対性,2-23頁

1028 陶磁器カタログ Den Kongelige Porcelainsfabriks 6冊あるので 1028-1から1028-6のように枝番号をつけた.

財団法人仁科記念財団

113 東京都文京区本駒込 2 丁目28番45号 電話 東京 03 (3942) 1 7 1 8 郵便振替番号 東京 3-135934